

(参考資料) 保険者アンケート結果概要 (特定健診・保健指導)

保険者へのアンケート調査の概要

調査の概要

○調査対象

平成22年4月1日時点の全保険者

○調査期間

平成22年5月～6月

○調査方法

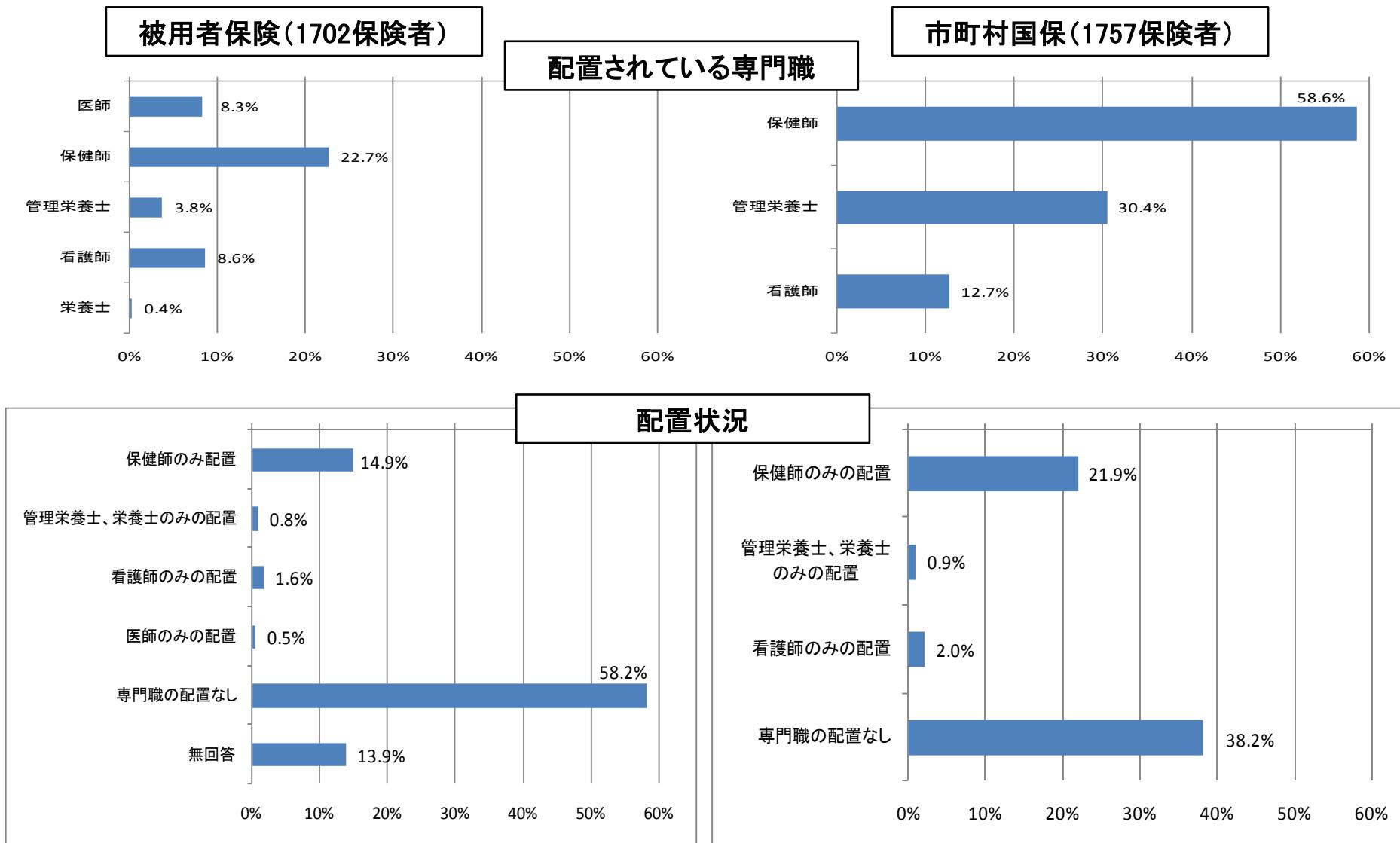
保険者協議会中央連絡会の構成員である中央団体経由で各保険者へ調査票を送付。
各中央団体において調査票を取りまとめ、厚生労働省へ提出。

○アンケート回収状況(22年10月時点)

保険者種別	回収数	回収率
組合健保	1266	86.7%
協会けんぽ	48	100%
船員保険	1	100%
共済組合	222	100%
国民健康保険組合	165	100%
市町村国保	1757	100%

専門職の配置状況(複数回答可)

専門職の配置状況について、市町村国保では、国保担当部署に保健師、管理栄養士等専門職の配置が多く、被用者保険では、専門職の配置が少ない傾向であった。



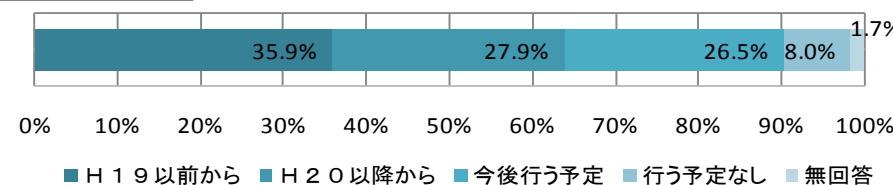
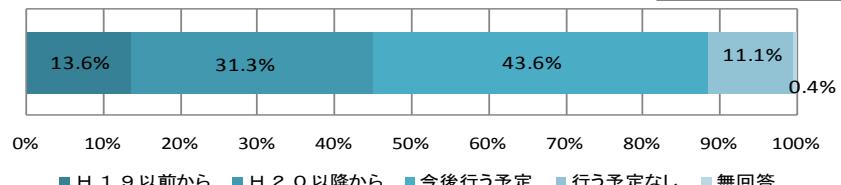
特定健診・保健指導のデータの集計・分析

特定健診・保健指導のデータ集計・分析の実施状況については、「行う予定なし」が約1割前後おり、その理由としては、「人員不足」が約半数であった。平成19年あるいは平成20年からデータ分析を行っている場合の具体的な内容としては、「保健指導への活用」、「経年変化」が多かった。

被用者保険(1702保険者)

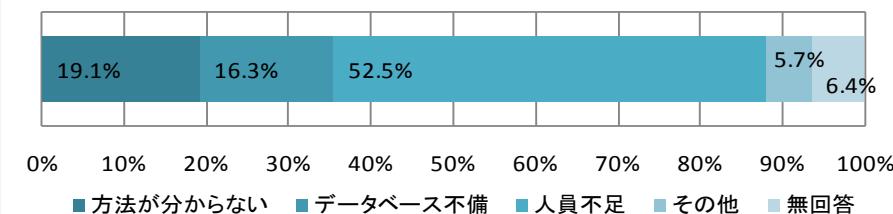
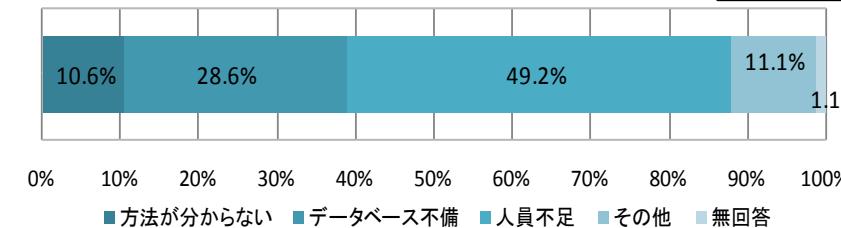
集計・分析の実施の状況

市町村国保(1757保険者)

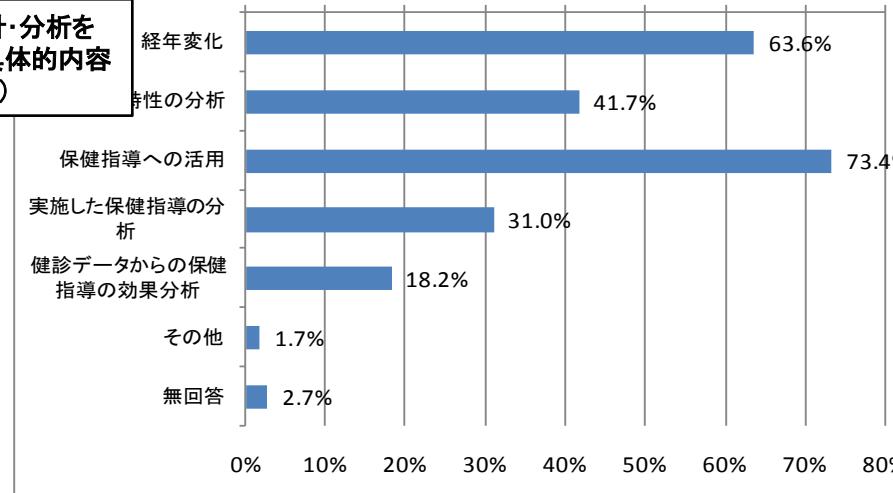
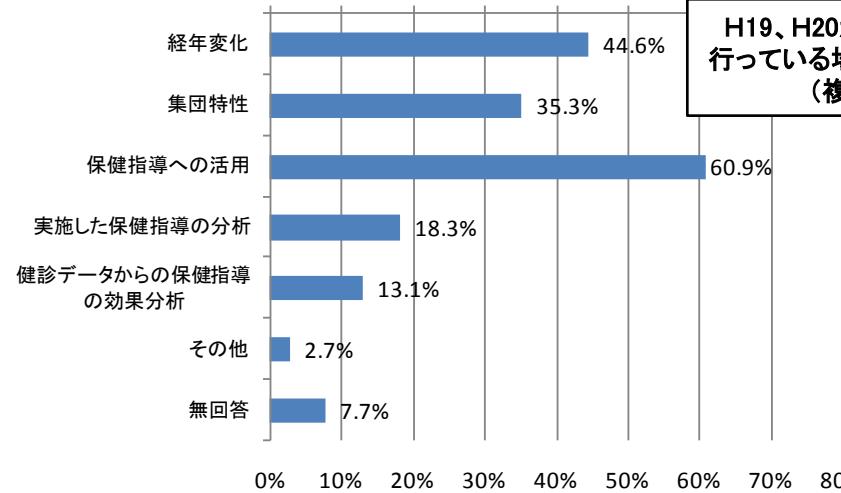


行う予定なしの理由

※行う予定なしと回答した保険者について集計



H19、H20から集計・分析を行っている場合の具体的な内容
(複数回答)



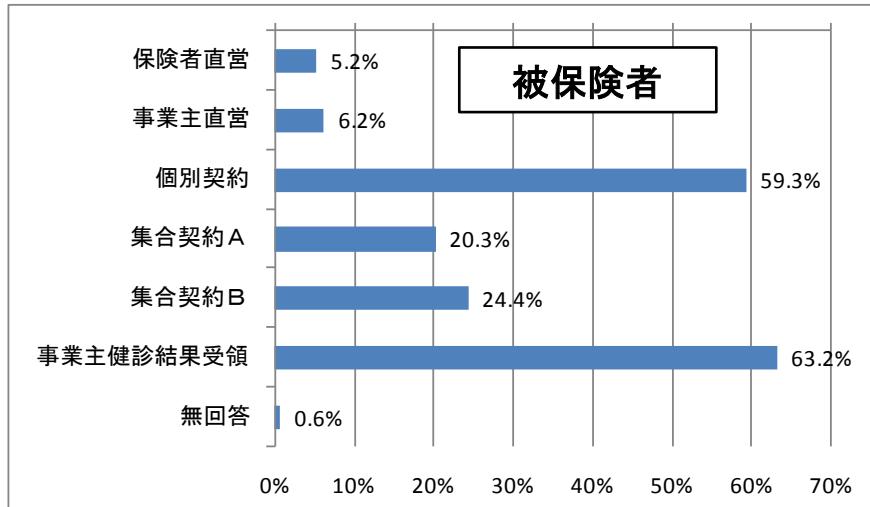
※「H19年以前から」「H20以降から行っている」と回答した保険者について集計

特定健康診査の実施状況

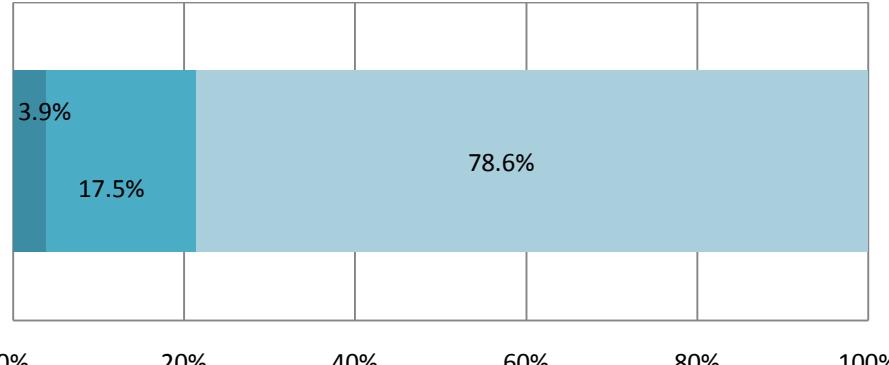
特定健康診査の直営・委託の状況(複数回答)

特定健診の直営・委託の状況について、市町村国保では「外部委託のみ」が多く、被用者保険では、被保険者については「個別契約」及び「事業主健診結果受領」が多く、被扶養者については「個別契約」、「集合契約A」、「集合契約B」が多かった。

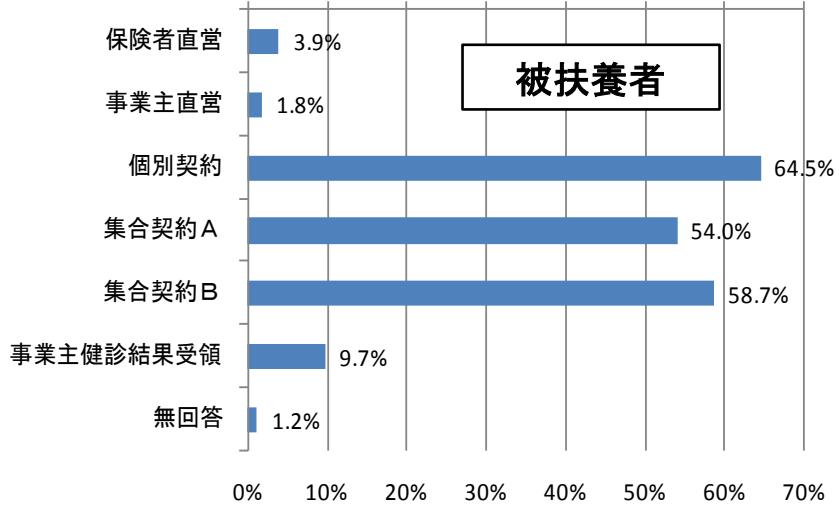
被用者保険(1702保険者)



市町村国保(1757保険者)



■直営のみ ■直営と外部委託との組み合わせ ■外部委託のみ

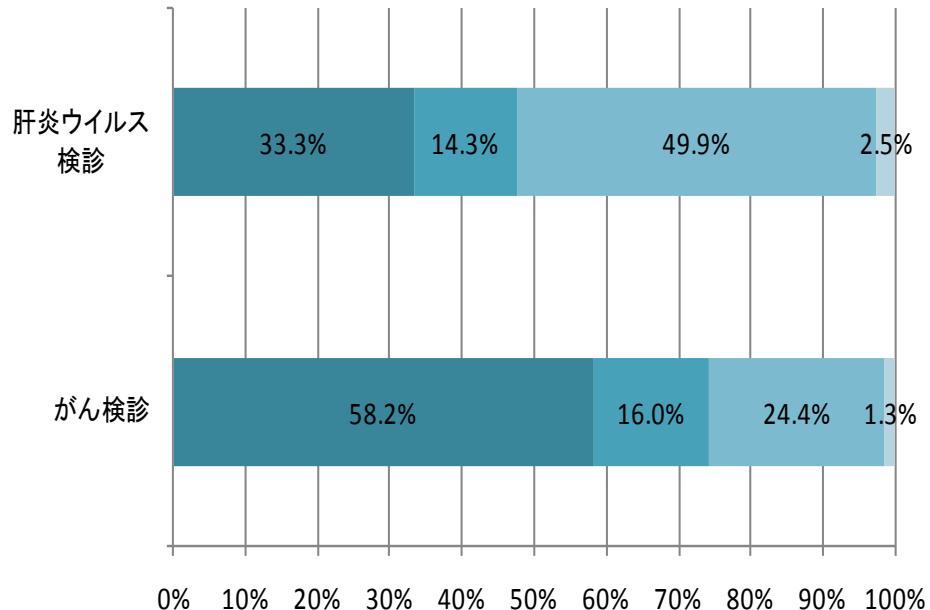


他の検診等との同時実施の状況

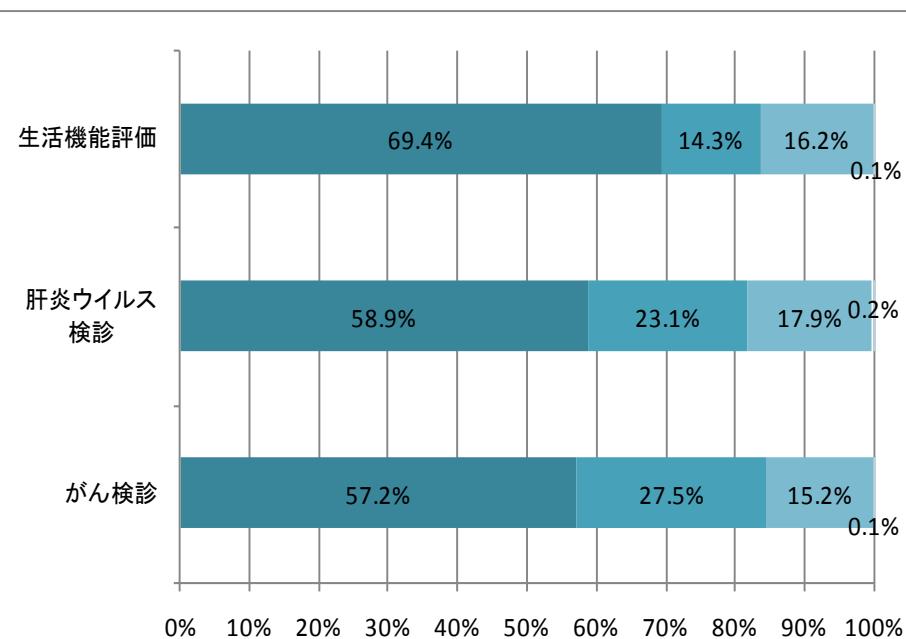
特定健診と他の検診等との同時実施の状況について、市町村国保においては、生活機能評価との同時実施を行っており、また半数超の保険者が全ての実施機関等で他の検診との同時実施を行っていた。

被用者保険は、実施している保険者と実施していない保険者が2極化している傾向があった。

被用者保険(1702保険者)



市町村国保(1757保険者)

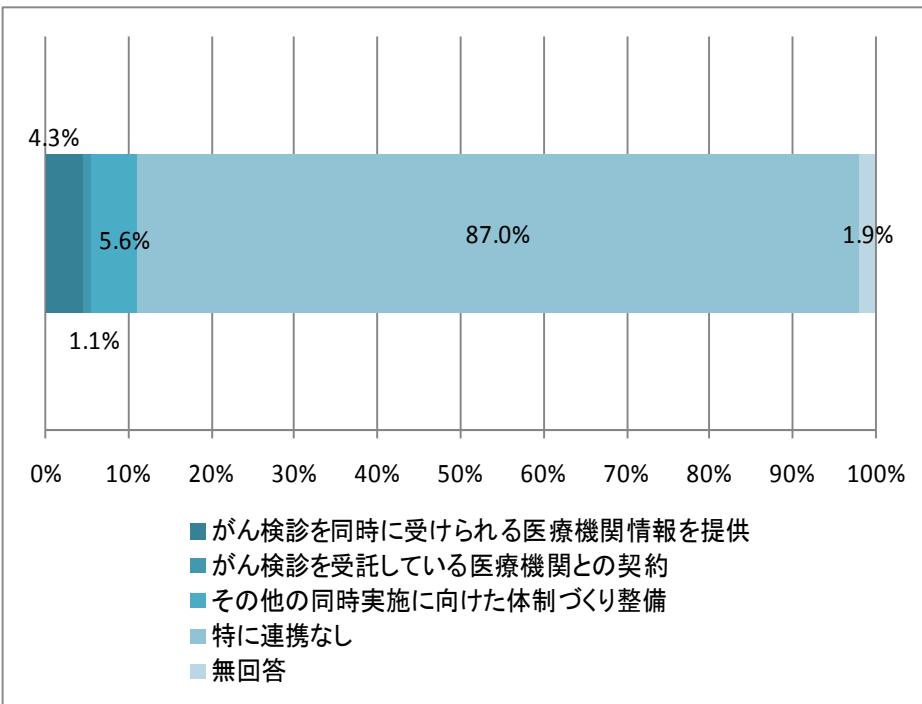


(注)「同時実施」とは、同日に同会場で特定健康診査以外の他検診を受診できる体制を整備していることを指す。

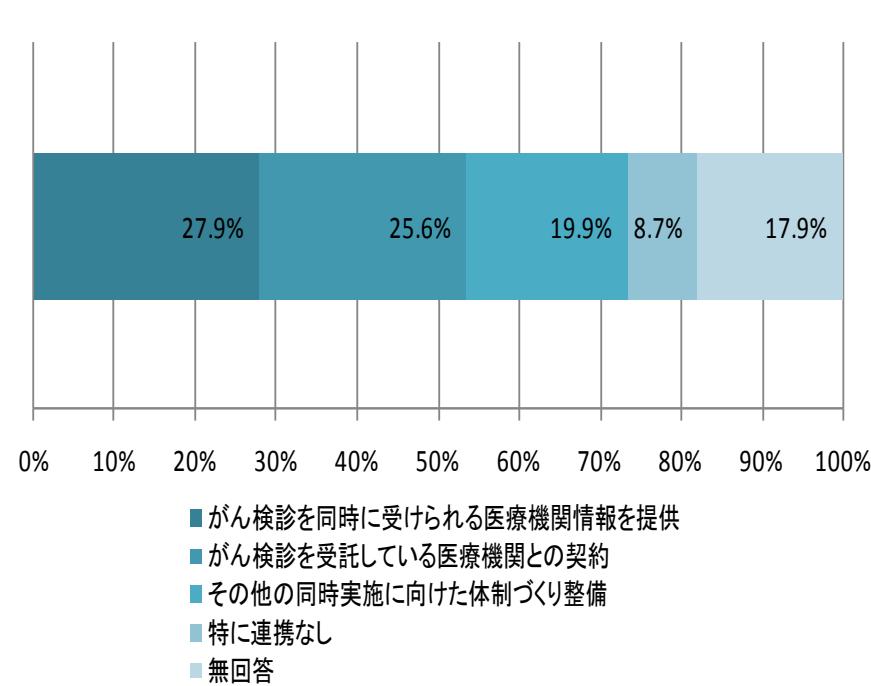
市町村のがん検診との同時実施に向けた連携の状況

市町村が行うがん検診との同時実施に向けた連携の状況については、市町村国保は「がん検診を同時に受けられる医療機関情報を提供」など、様々な取組を行っている一方、被用者保険は「特に連携を行っていない」保険者が9割近くとなっている。

被用者保険(1702保険者)



市町村国保(1757保険者)



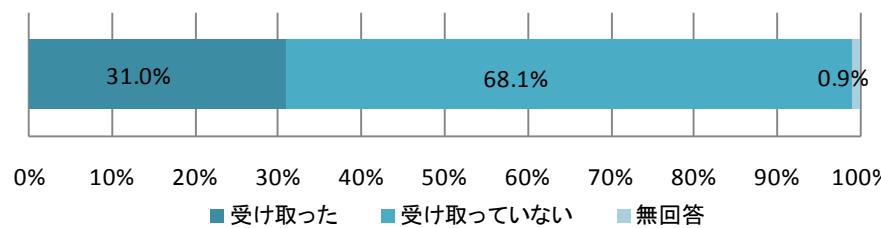
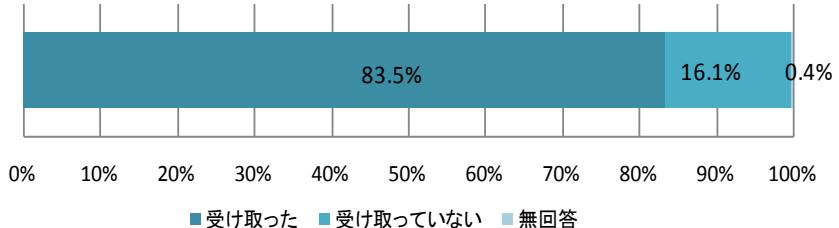
労働安全衛生法に基づく健康診査結果の受領状況

労働安全衛生法に基づく健診結果の受領状況について、被用者保険では、労働安全衛生法上の健康診査結果を「受け取った」保険者が約8割であり、結果形式は「XML」「紙」が多かった。市町村国保では、「受け取った」保険者が約3割である、結果形式は「紙」が多かった。

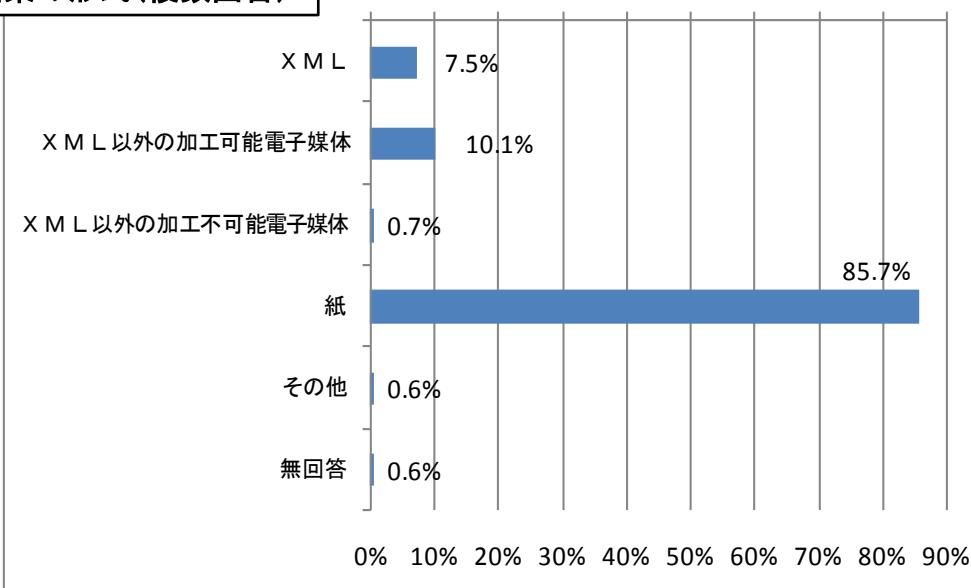
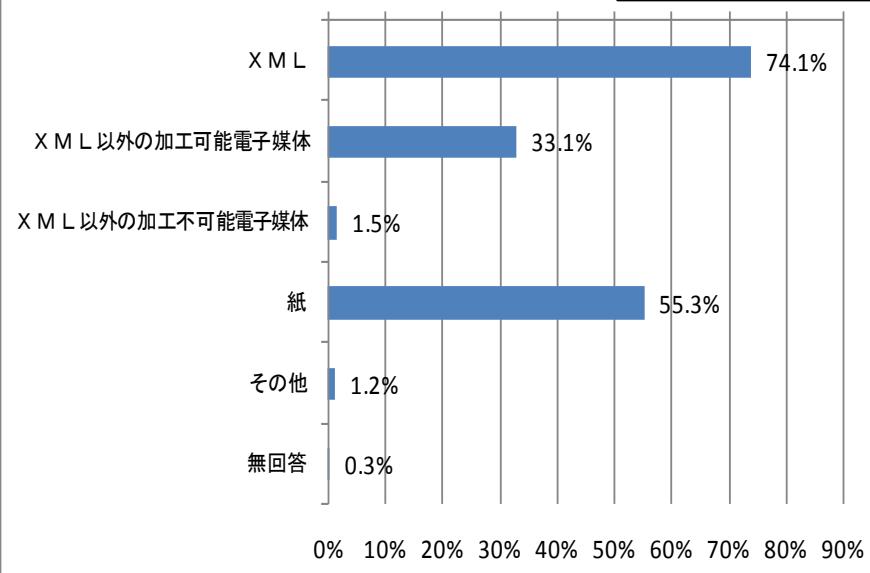
被用者保険(1702保険者)

市町村国保(1757保険者)

労働安全衛生法による健診結果受領の有無



受領した場合の結果の形式(複数回答)

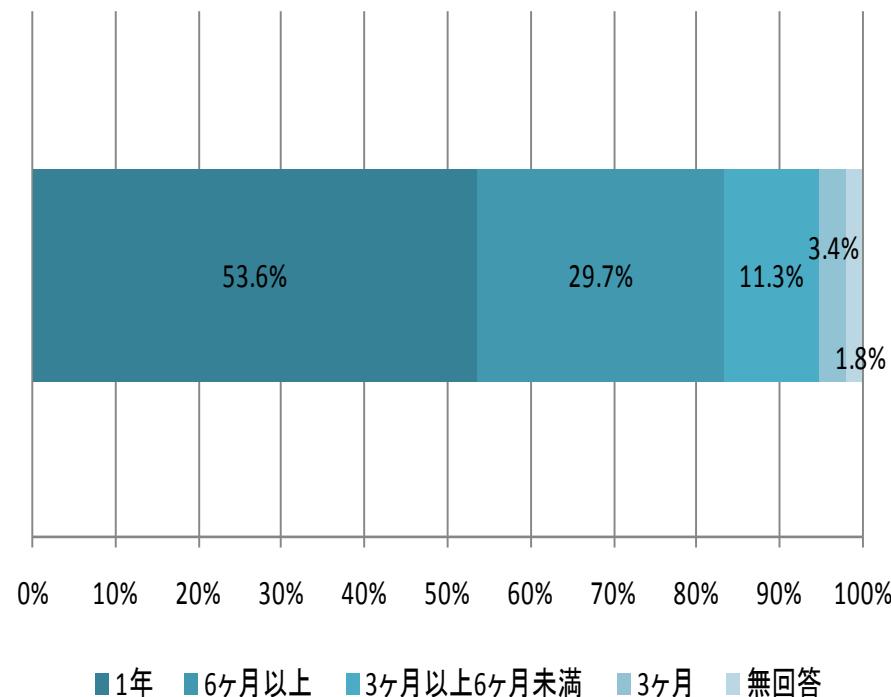


特定健康診査実施期間

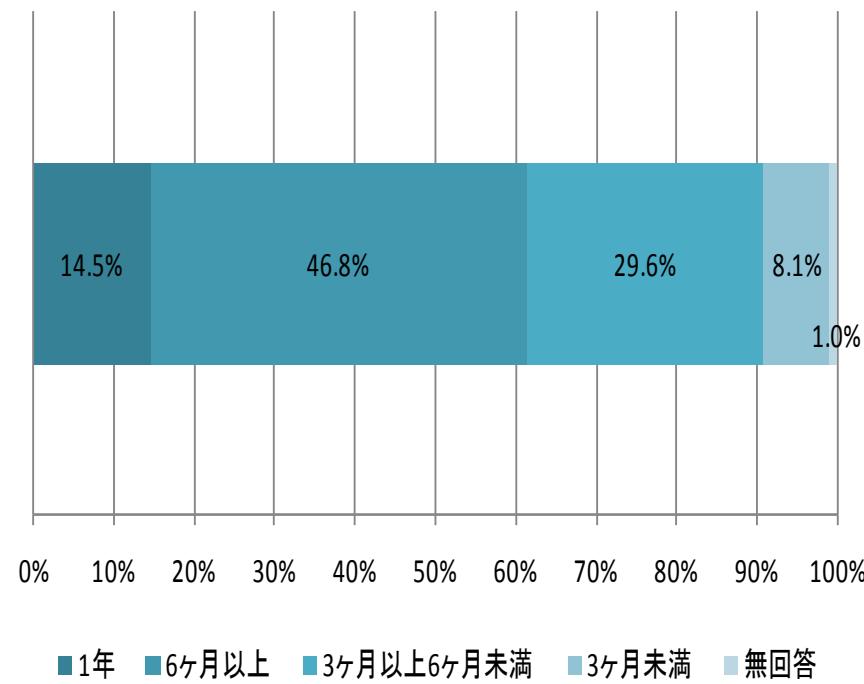
被用者保険(直営又は個別契約により実施を委託している者のみ)については、年間を通して特定健診実施を可能としている者が最も多く、市町村国保においては、6ヶ月～1年未満の健診期間を設けている者が最多い。

被用者保険(1140保険者)

※被用者保険については、直営及び実施機関等と個別契約を行っているものについてのみ。



市町村国保(1757保険者)

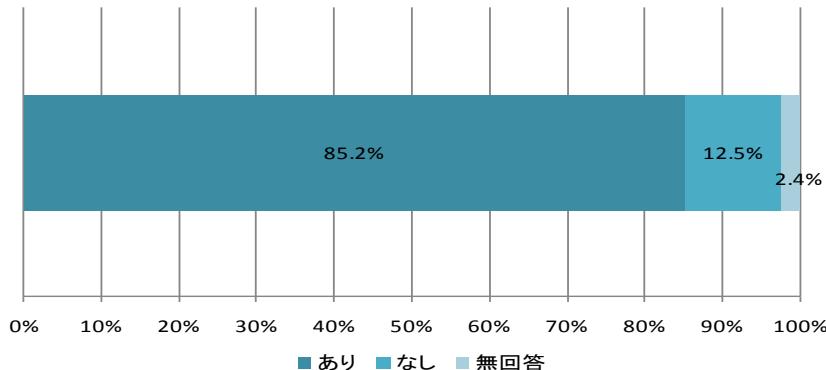


受診券・案内等の個別送付の実施状況(被用者保険)

受診券・案内等の個別送付の実施状況について、被用者保険では約8割が個別送付しており、個別送付の対象者は、「対象者全員」が多かった。送付方法は、「被扶養者の自宅へ送付」「事業主経由」が多く、送付時期は「年度当初一斉通知」が多かった。

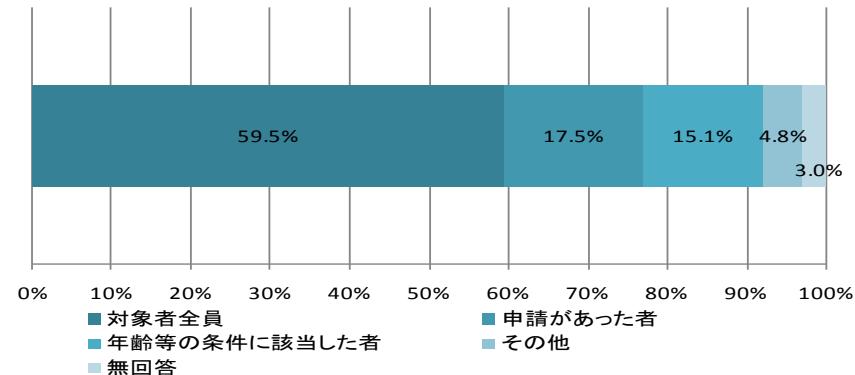
個別送付の有無(1140保険者)

※被用者保険については、直営及び実施機関等と個別契約を行っているものについてのみ。送付は被扶養者に対してのもの。



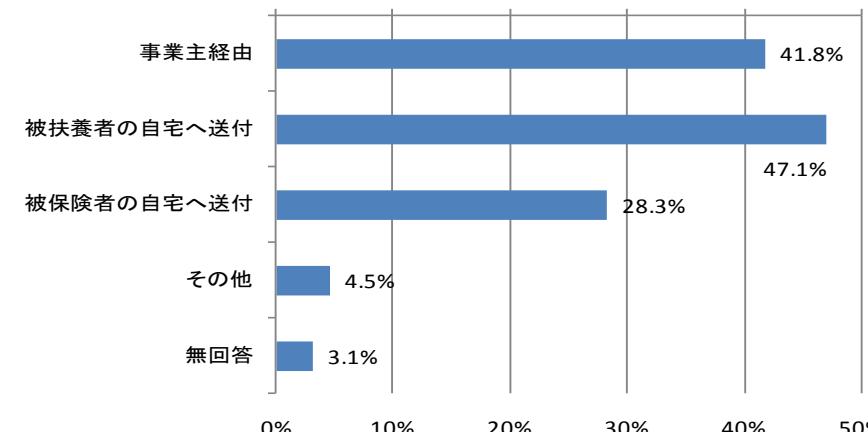
個別送付の対象者(971保険者)

※個別送付を行っている保険者のみで集計。送付は被扶養者に対してのもの。



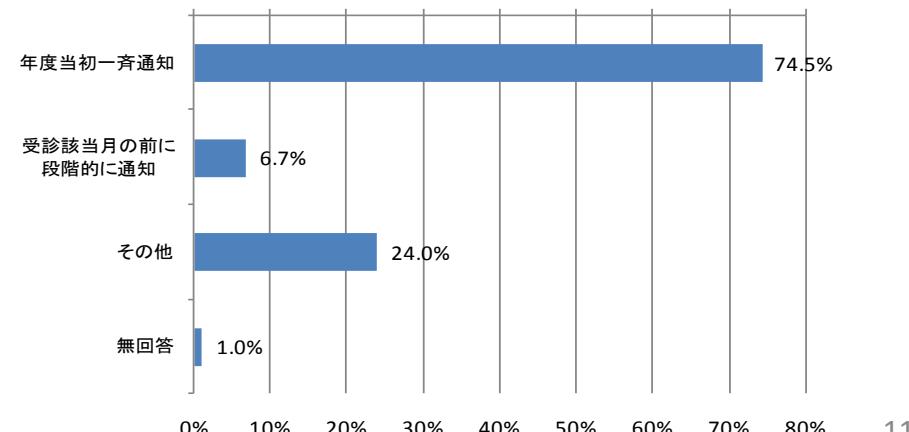
送付方法【複数回答】(971保険者)

※個別送付を行っている保険者のみで集計。送付は被扶養者に対してのもの。



送付時期【複数回答】(971保険者)

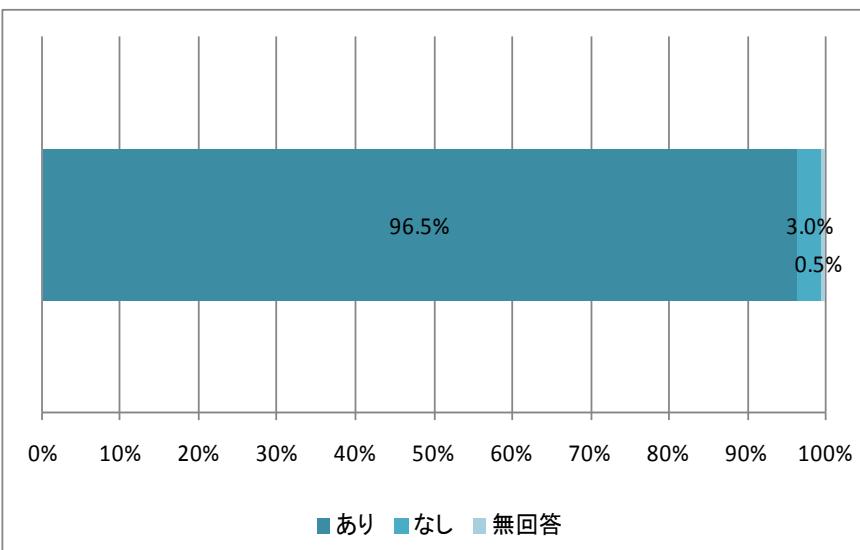
※個別送付を行っている保険者のみで集計。送付は被扶養者に対してのもの。



受診券・案内等の個別送付の実施状況(市町村国保)

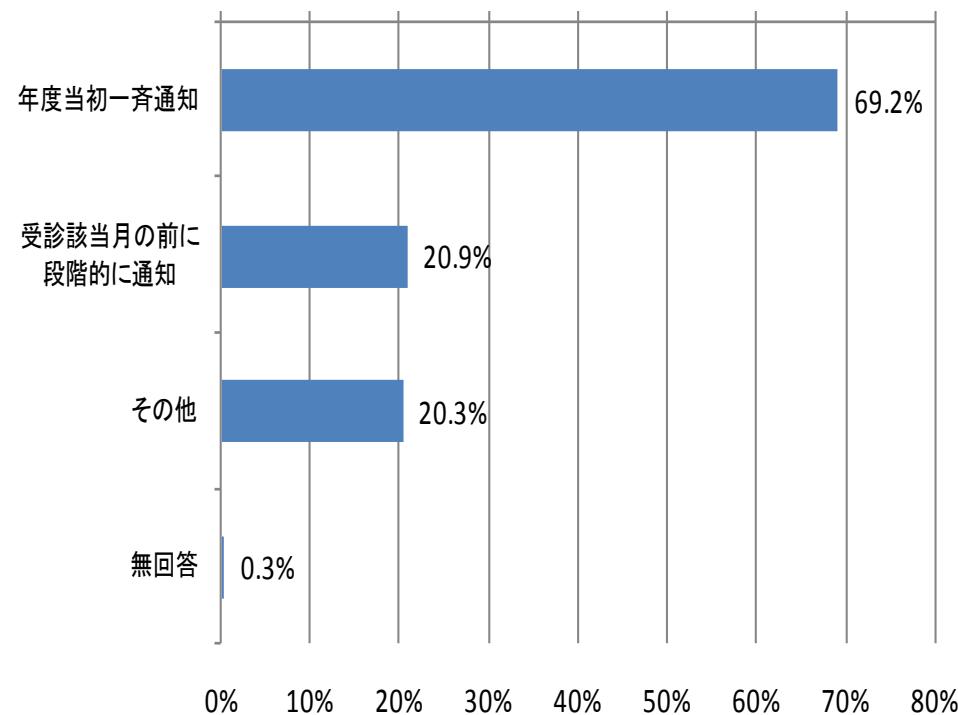
受診券・案内等の個別送付の実施状況について、市町村国保では9割以上が個別送付しており、送付時期は「年度当初一斉通知」が多かった。

個別送付の有無(1757保険者)



送付の時期【複数回答】(1696保険者)

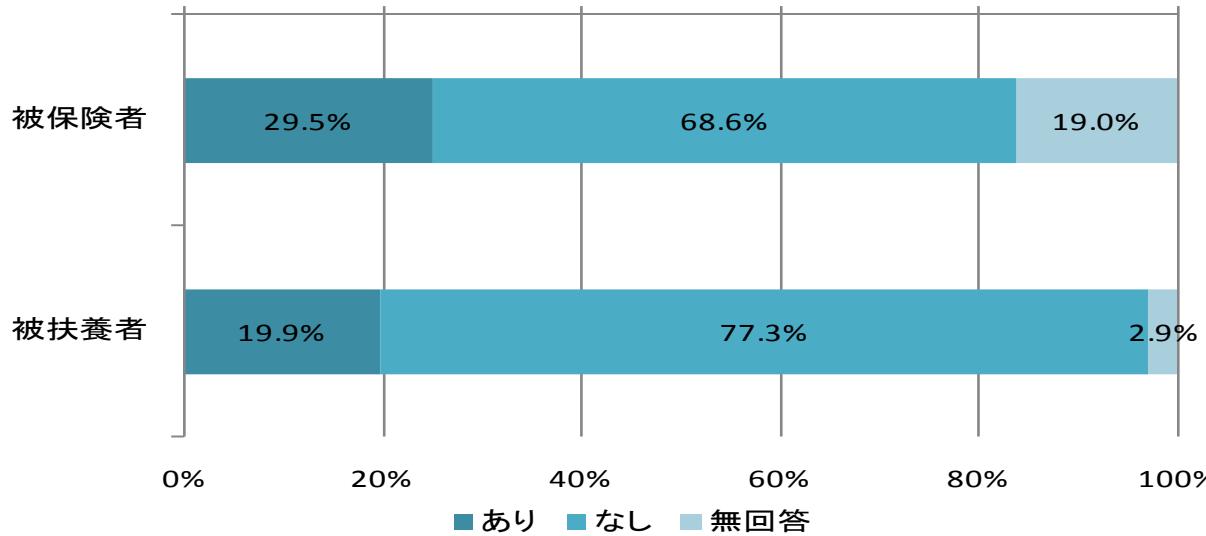
※個別送付を行っている保険者のみで集計。



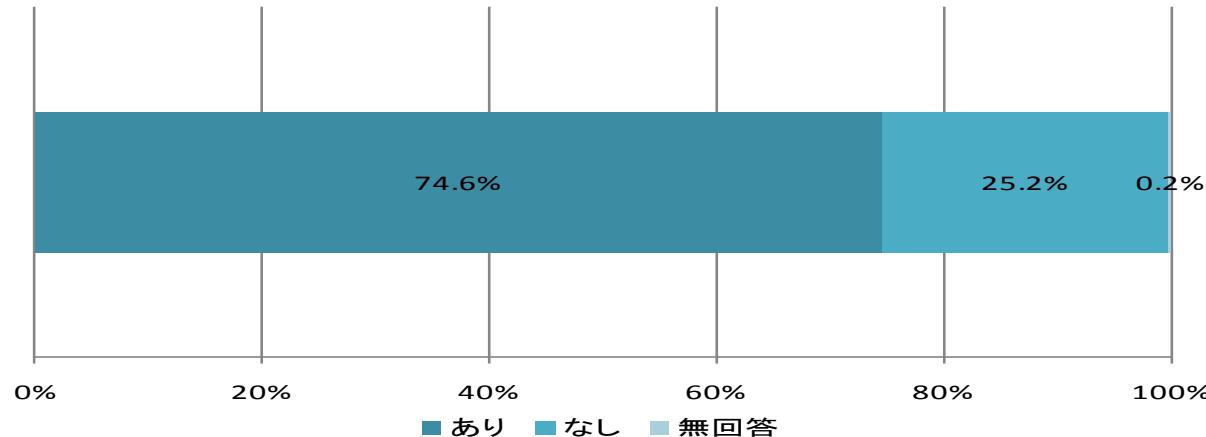
特定健康診査未受診者への受診勧奨の実施の有無

特定健康診査未受診者への受診勧奨について、被用者保険では「なし」が多く、市町村国保では、「あり」が多かった。

被用者保険
(1702保険者)

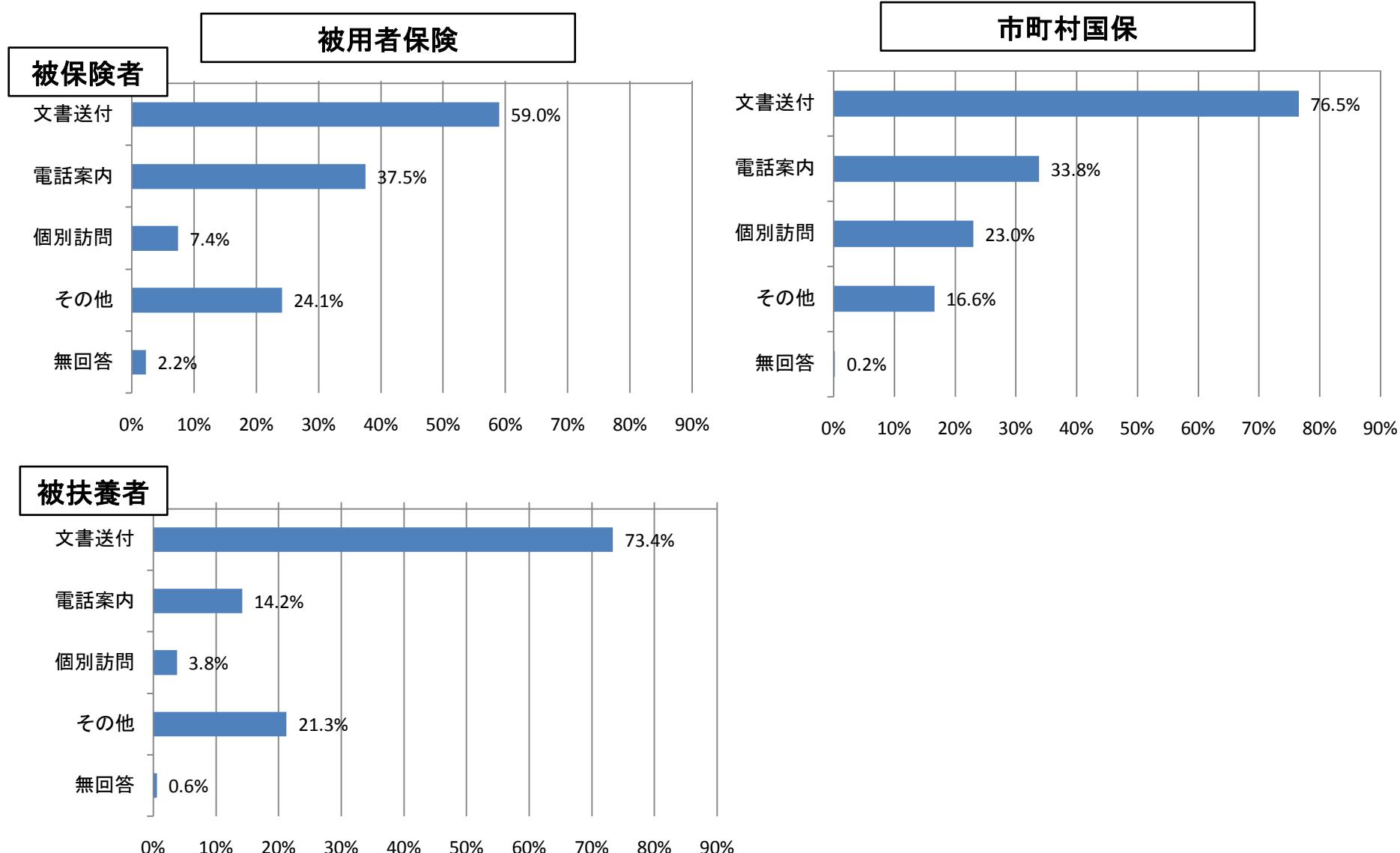


市町村国保
(1757保険者)



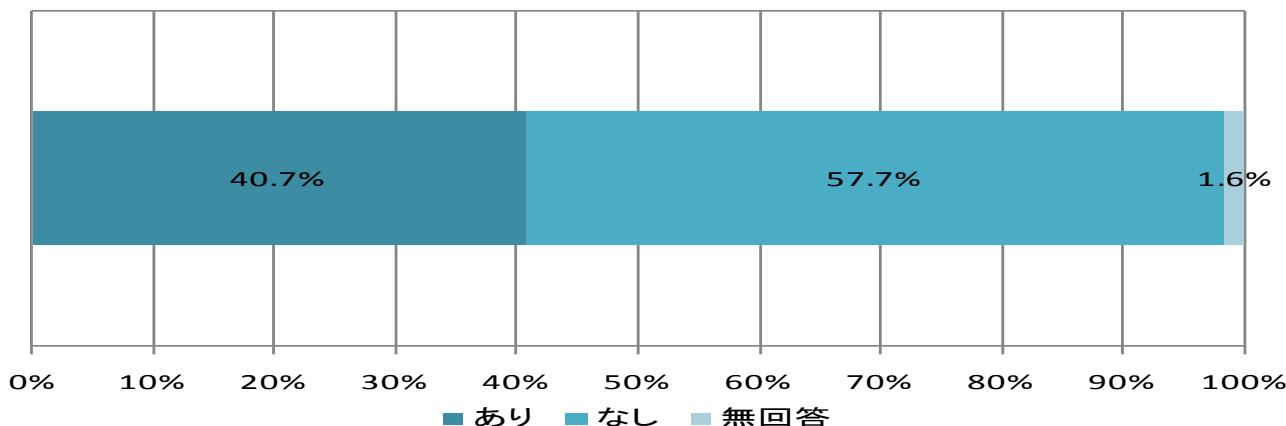
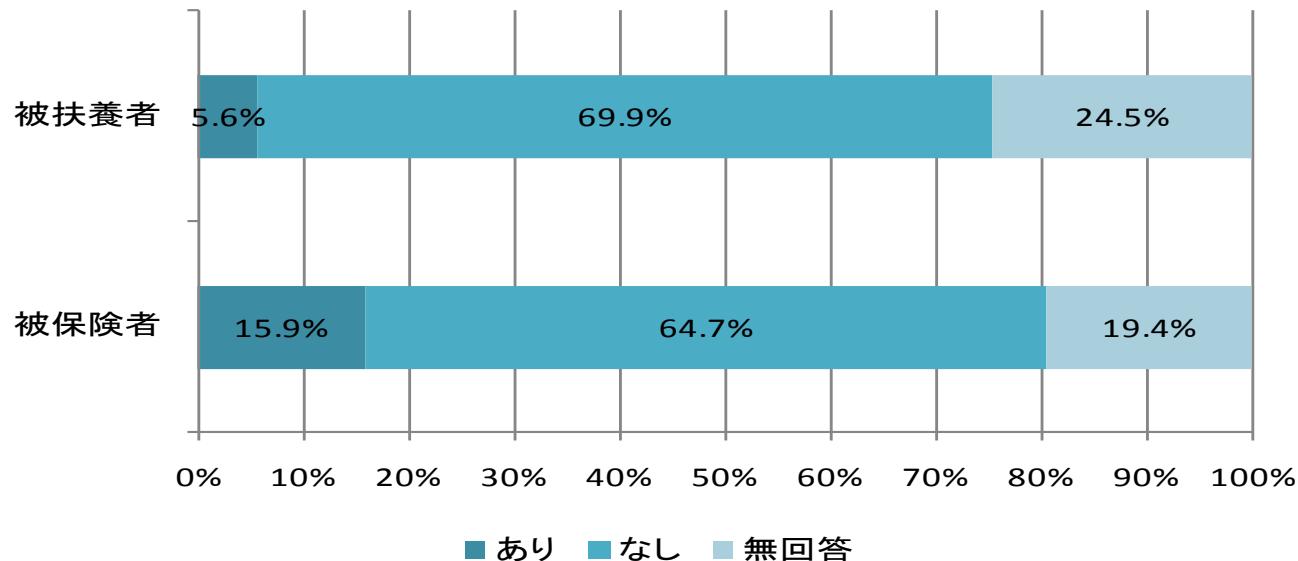
特定健康診査未受診者への受診勧奨の方法(複数回答)

特定健康診査未受診者への受診勧奨の方法として、「文書送付」を行っている保険者が多かった。



特定健康診査未受診者の理由把握の実施の有無

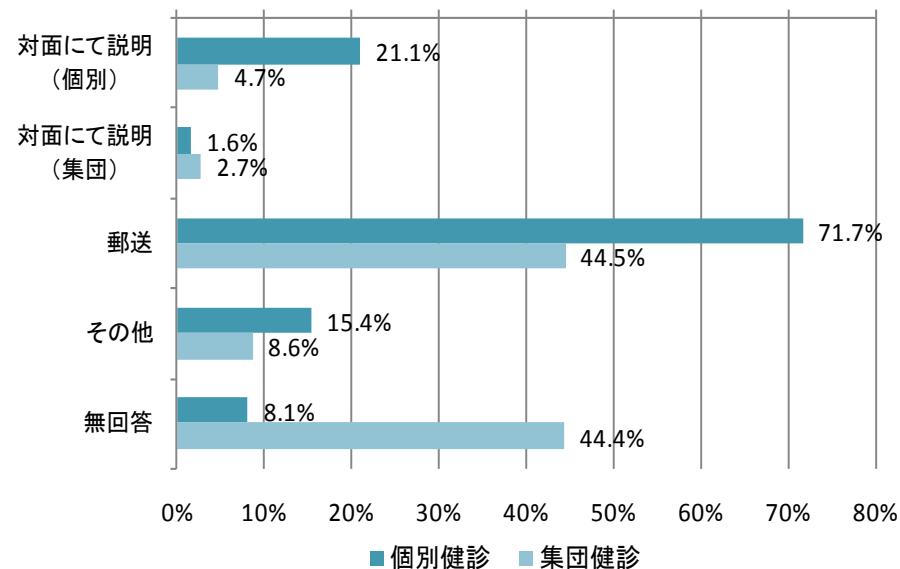
未受診者の理由把握の実施の有無について、被用者保険では、「なし」が約7割であり、市町村国保では、「あり」が約4割であった。



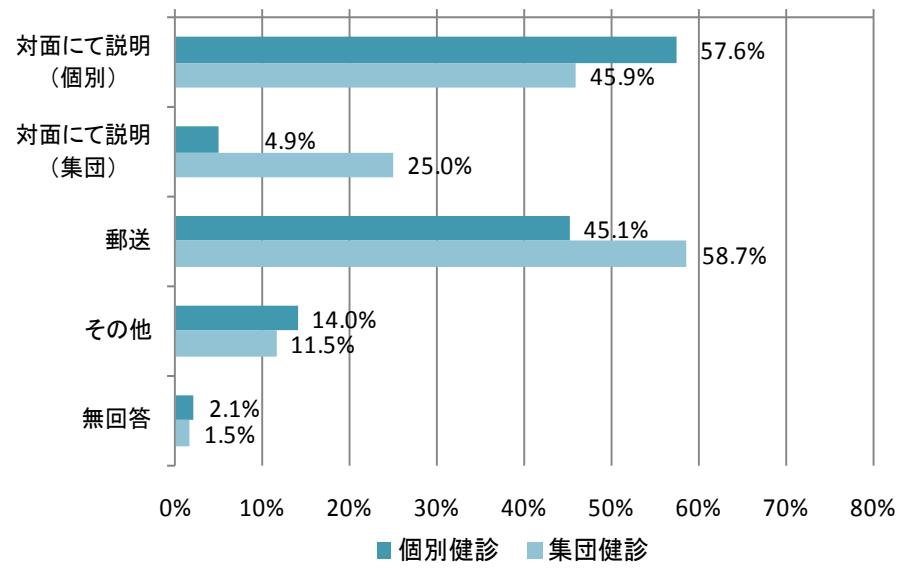
特定健康診査結果の通知方法

特定健診診査結果の通知方法について、被用者保険は、個別健診・集団健診において「郵送」による通知が多く、市町村国保は、「対面にて説明」及び「郵送」による通知が多かった。

被用者保険(1702保険者)



市町村国保(1757保険者)

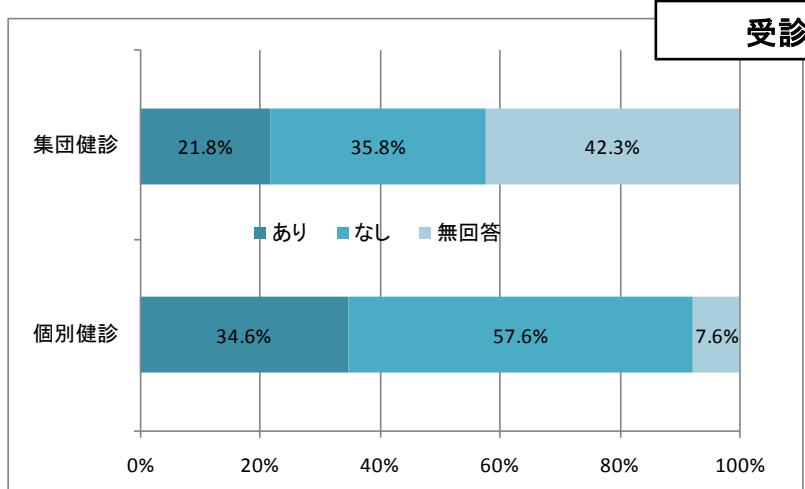


※被用者保険については、被扶養者に対する実施状況である

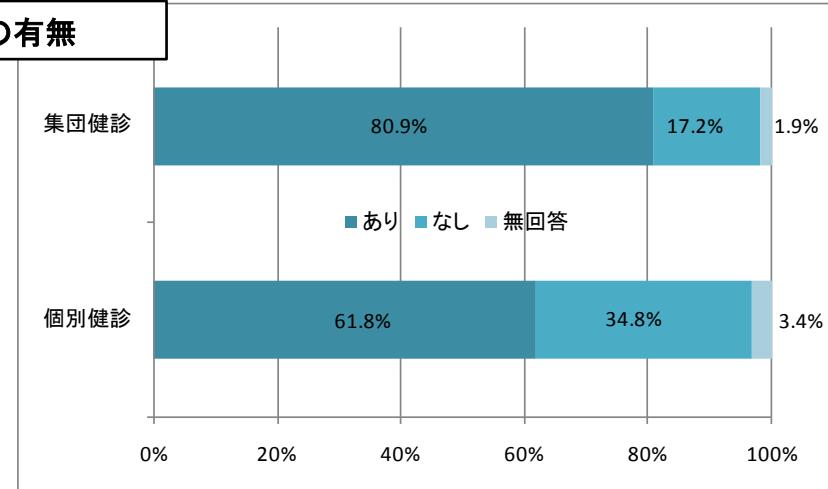
受診勧奨値を超えた者への受診勧奨実施の有無

受診勧奨値を超えた者への受診勧奨実施の有無について、被用者保険では、集団健診の約2割、個別健診の約3割が実施しており、市町村国保では、集団健診の約8割、個別健診の約6割が受診勧奨を実施していた。受診勧奨を実施した場合の医療機関受診の確認の有無について、市町村国保では、集団健診の約6割が実施していた。

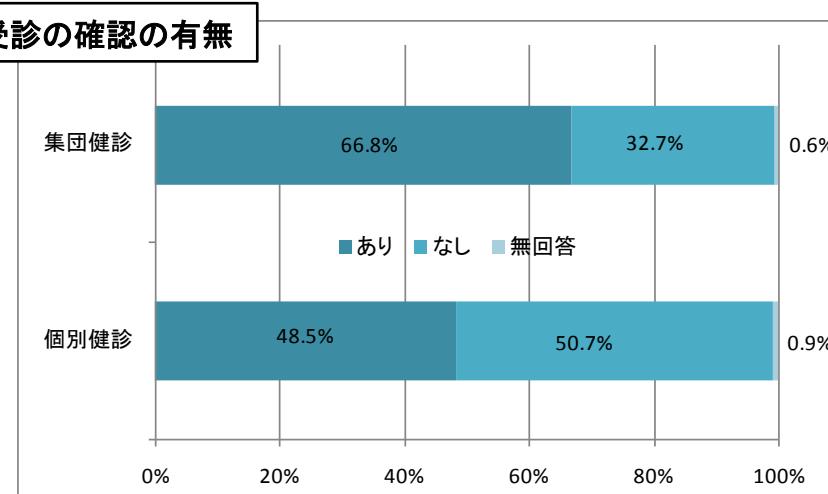
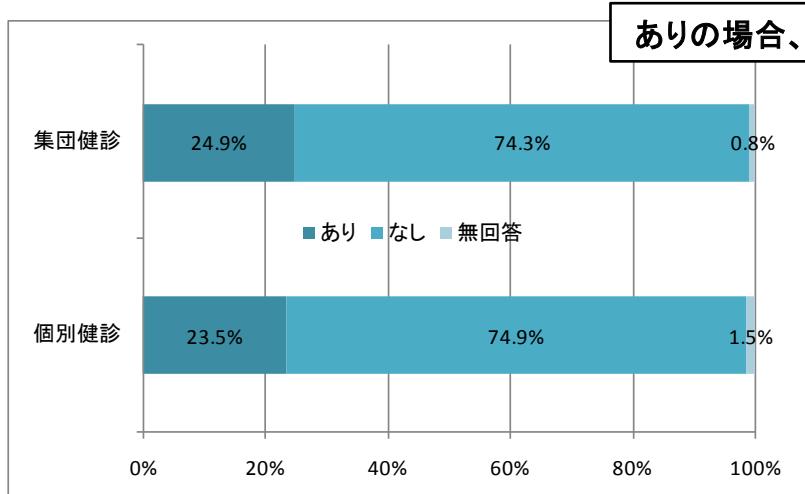
被用者保険(1702保険者)



市町村国保(1757保険者)



ありの場合、医療機関受診の確認の有無



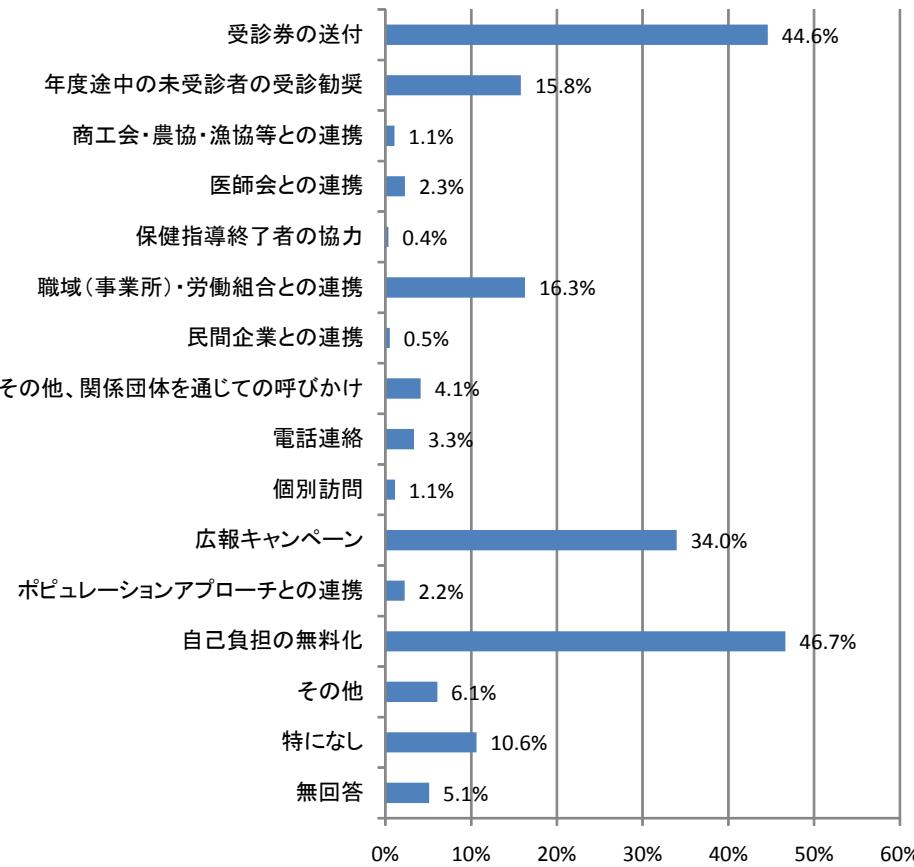
※被用者保険については、被扶養者に対する実施状況である

※受診勧奨ありと回答した保険者について集計

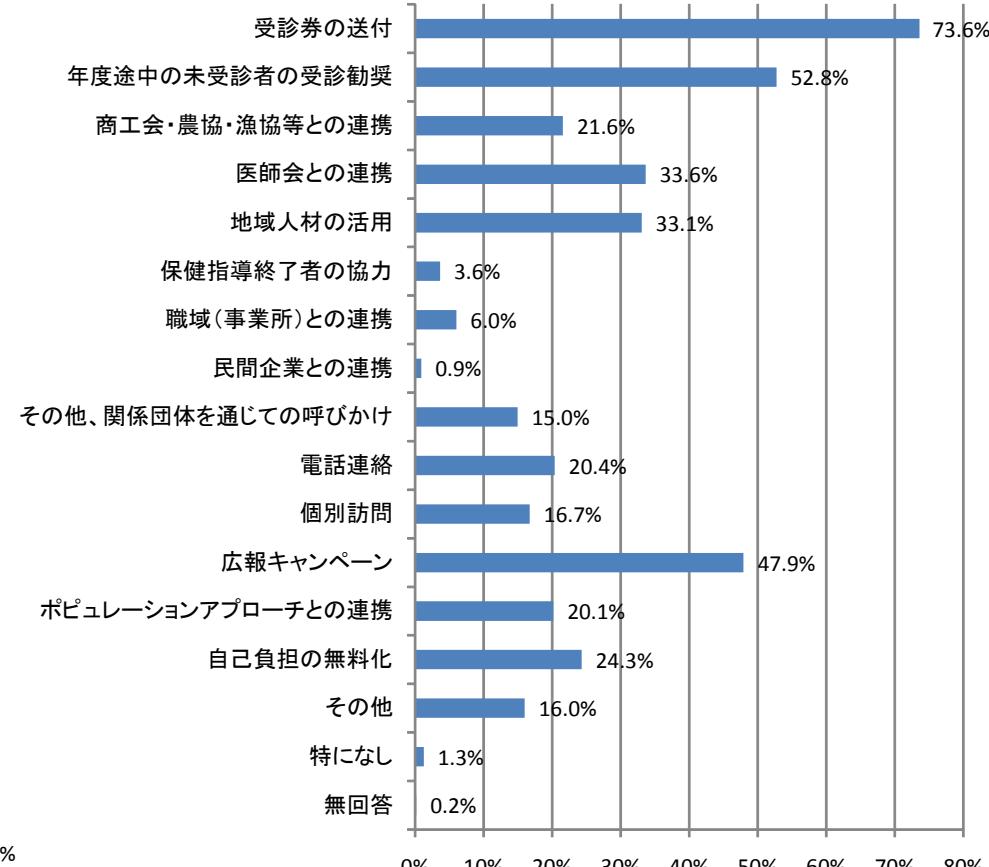
特定健康診査の受診率向上のために取り組んでいる事項(複数回答)

特定健診の受診率向上のために工夫している点として、被用者保険では、「受診券の送付」や「自己負担の無料化」が多く、市町村国保では「受診券の送付」や「年度途中の未受診者の受診勧奨」が多く、その他、地域の他団体との連携等、特定健診受診率向上のための様々な取組みがなされている傾向であった。

被用者保険(1702保険者)



市町村国保(1757保険者)

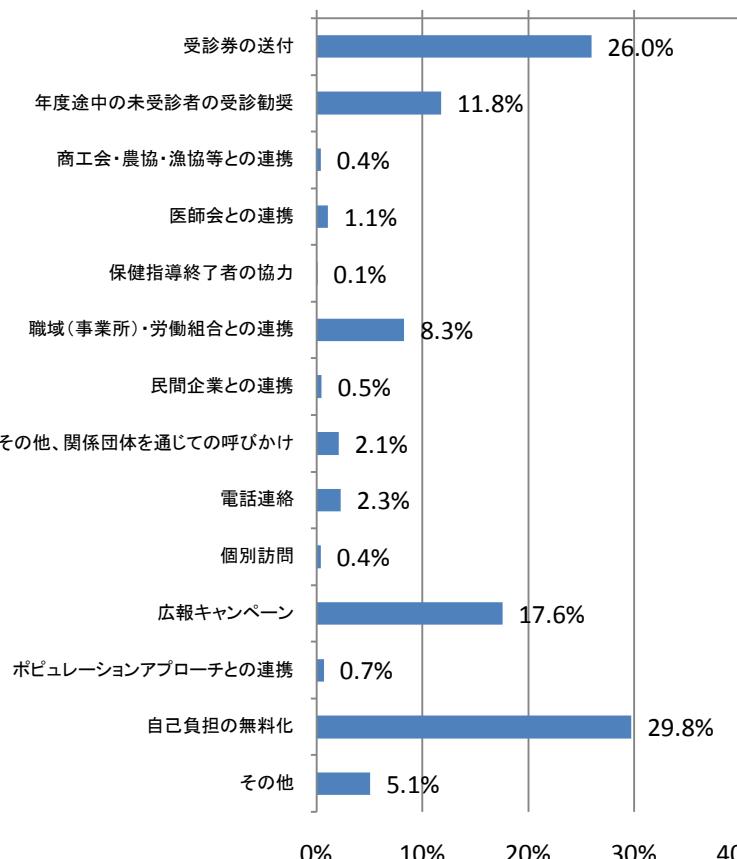


(注)市町村国保にのみ、「地域人材の活用」の回答項目がある。

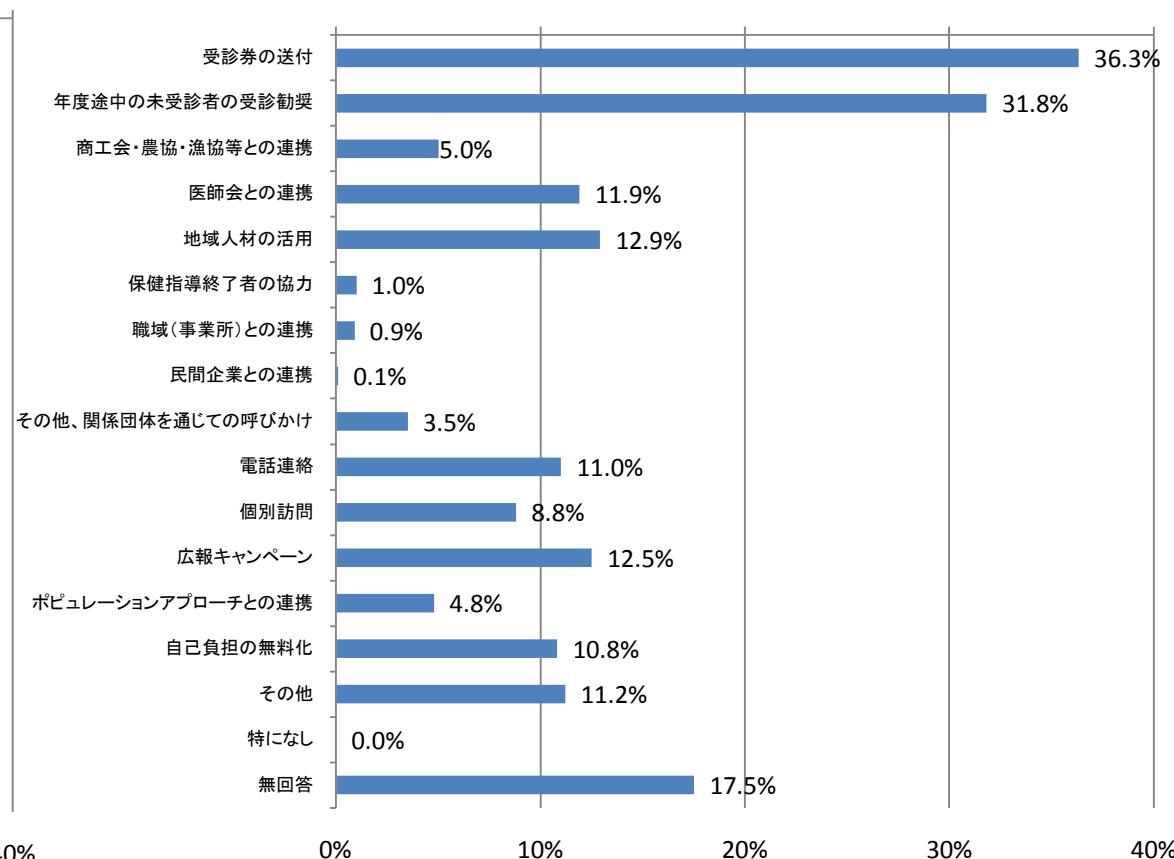
特定健康診査受診率向上のために有効だと思った方法(主なもの3つまでの回答)

受診率向上のための工夫で、有効だと思った方法として、被用者保険では、「受診券の送付」や「自己負担の無料化」が多く、市町村国保では、「受診券の送付」や「年度途中の未受診者の受診勧奨」が多かった。

被用者保険(1702保険者)



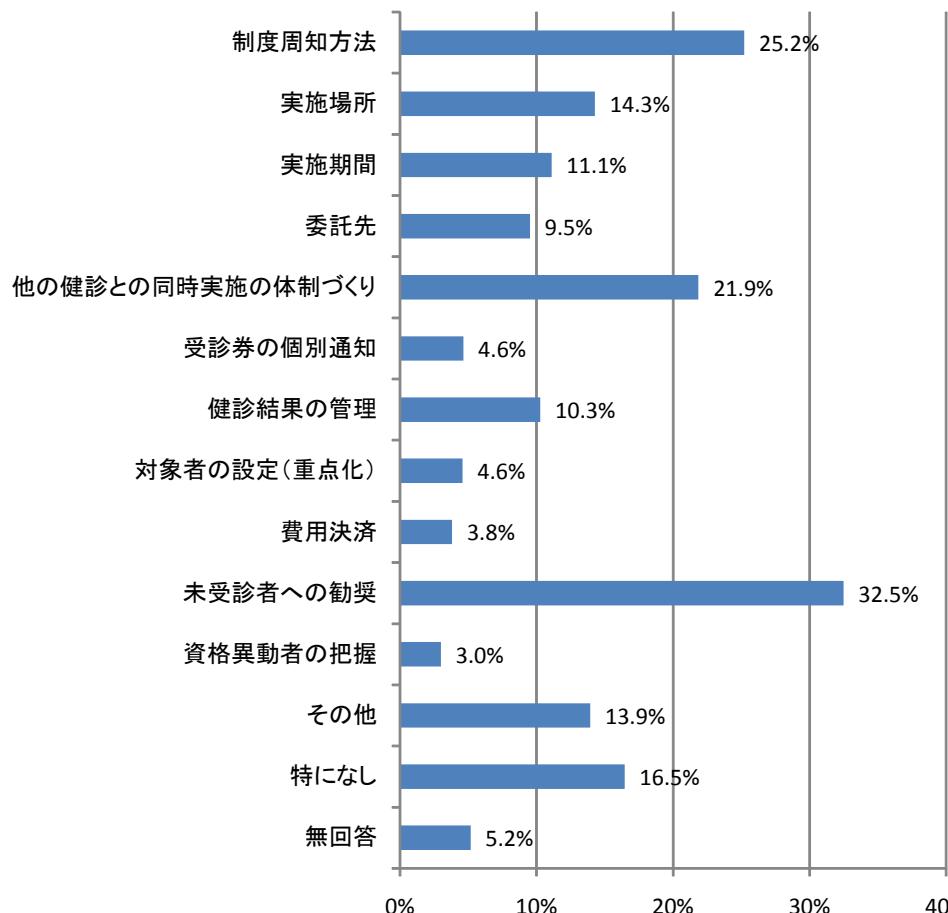
市町村国保(1757保険者)



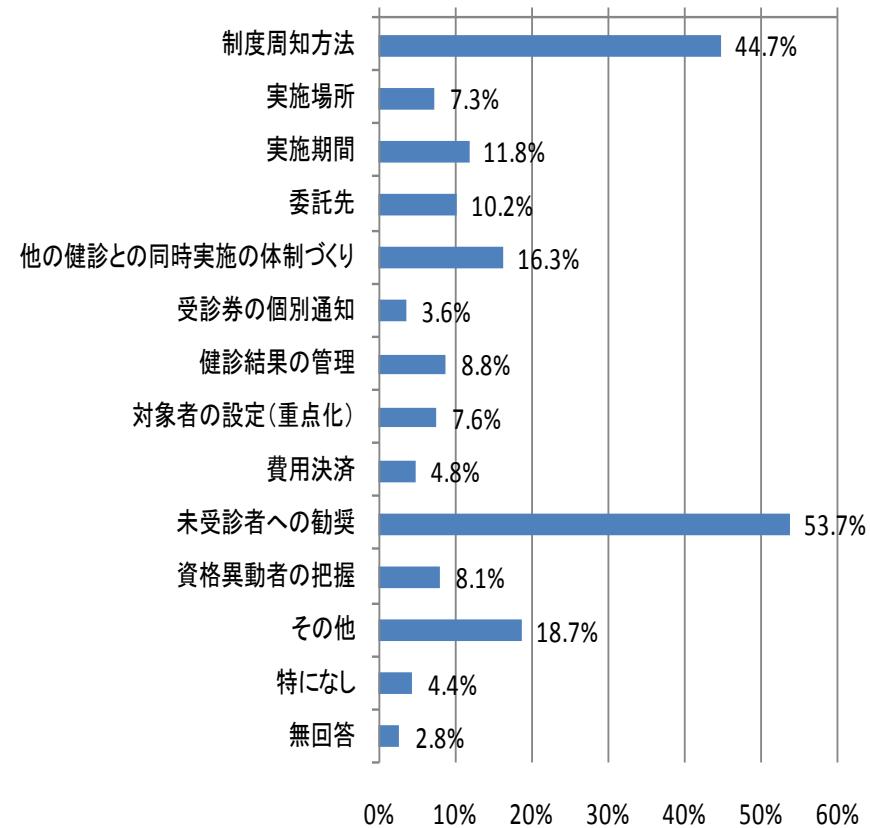
特定健康診査の円滑な実施のために改善が必要と考えられる項目 (主なもの3つまで複数回答)

特定健診の円滑な実施のために改善が必要と考えられる項目について、被用者保険、市町村国保とも「制度周知方法」や「未受診者への勧奨」が多かった。

被用者保険(1702保険者)



市町村国保(1757保険者)



特定保健指導の実施状況

特定保健指導の実施の有無

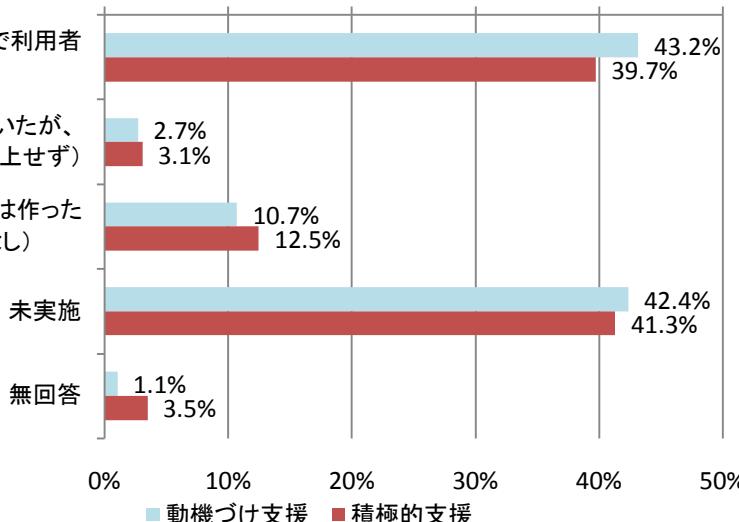
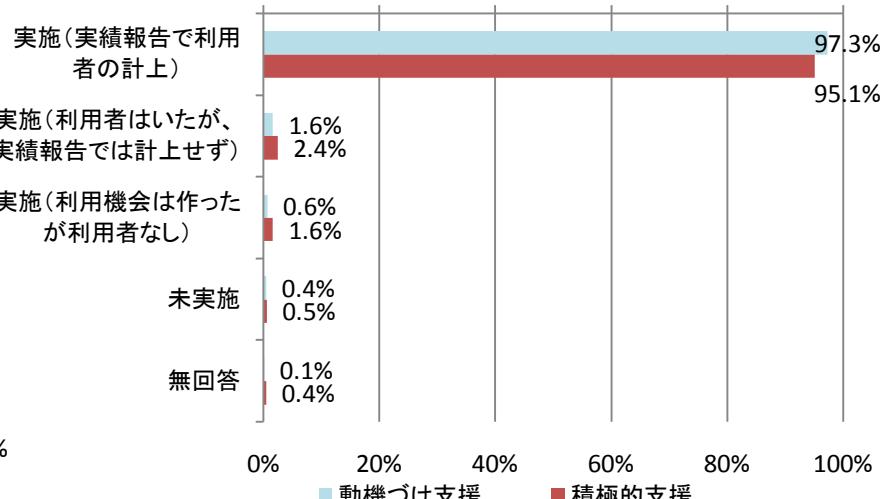
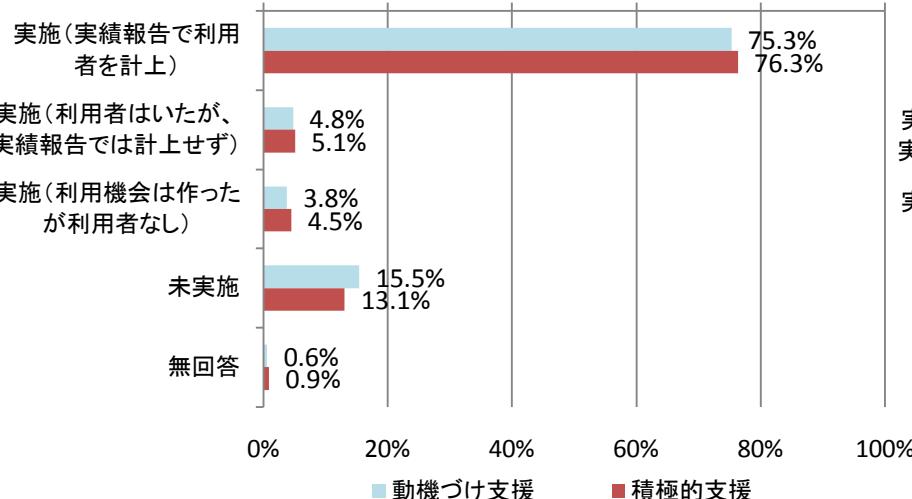
特定保健指導の実施状況について、動機づけ支援、積極的支援とも実施した保険者がほとんどだが、被用者保険の被扶養者については、「未実施」が約4割であった。

被
保
険
者

被
扶
養
者

被用者保険(1702保険者)

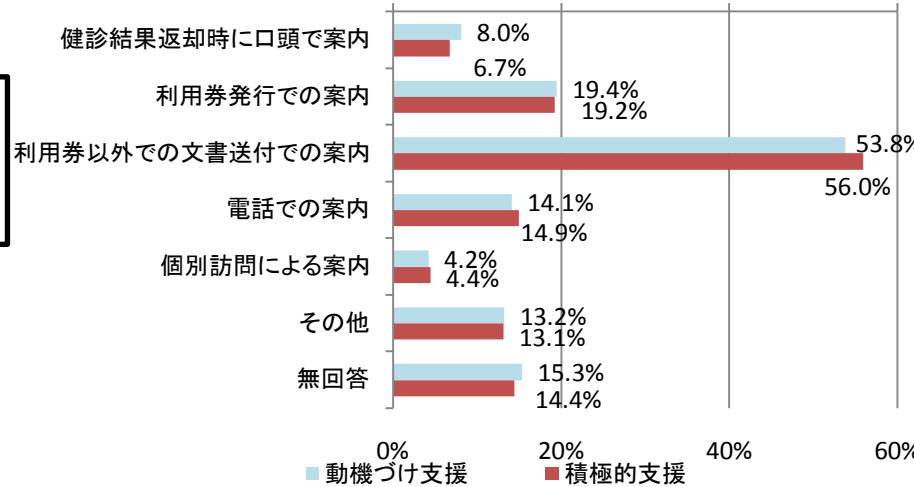
市町村国保(1757保険者)



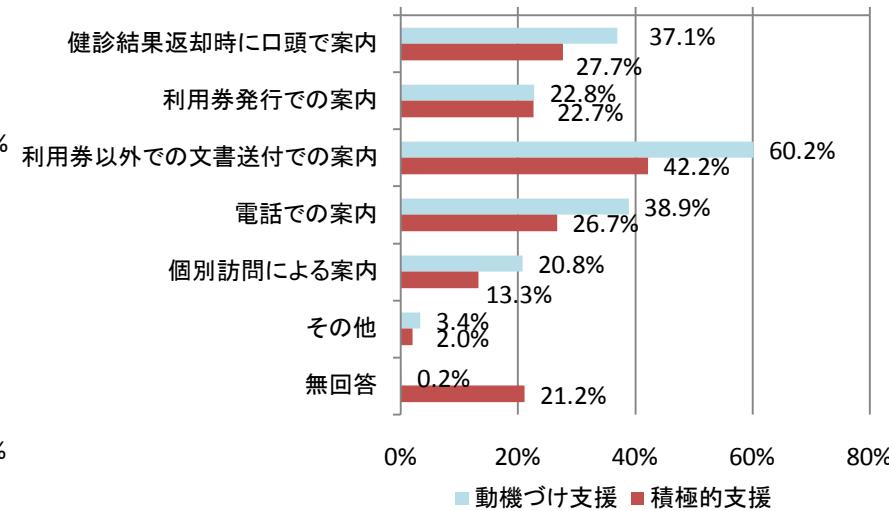
特定保健指導利用者への個別通知の方法(複数回答)

特定保健指導の利用者への個別通知(受診案内)について、動機づけ支援、積極的支援とも「利用券以外の文書送付での案内」が多かった。市町村国保では、「電話での案内」、「健診結果返却時に口頭で案内」も多かった。

被用者保険(1702保険者)

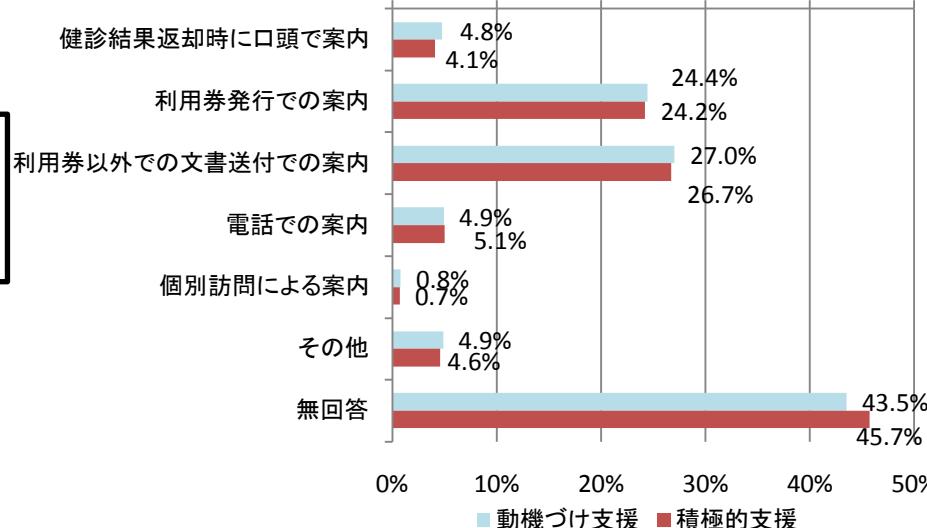


市町村国保(1757保険者)



被
保
險
者

被
扶
養
者

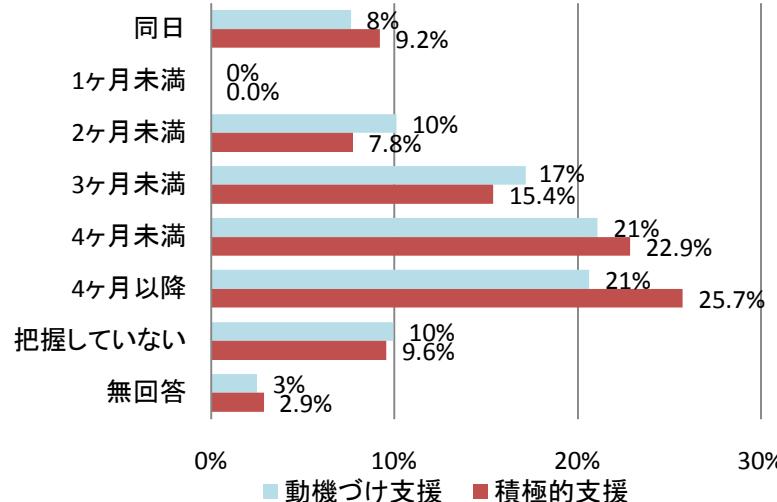


特定健康診査受診から保健指導(初回面接)までの平均的な期間

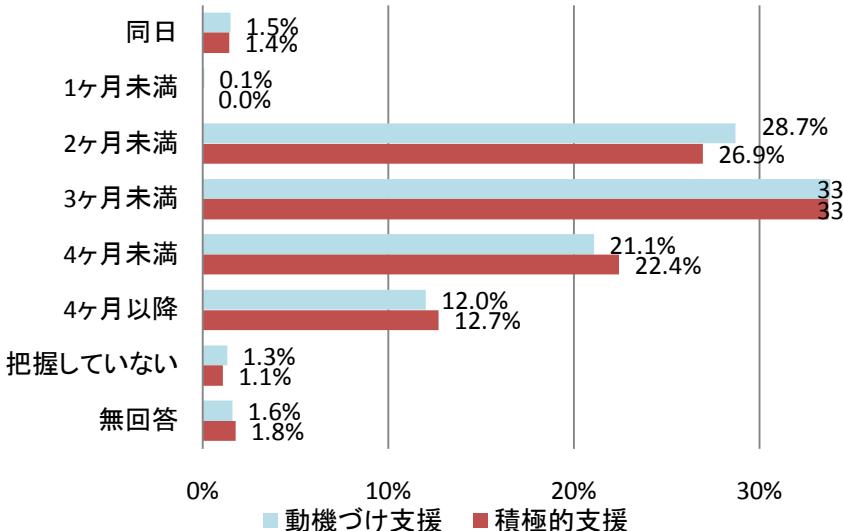
特定健診受診から保健指導(初回面接)までの平均的な時間について、被用者保険では「4ヶ月以降」が多く、市町村国保では「3ヶ月未満」が多かった。

被
保
険
者

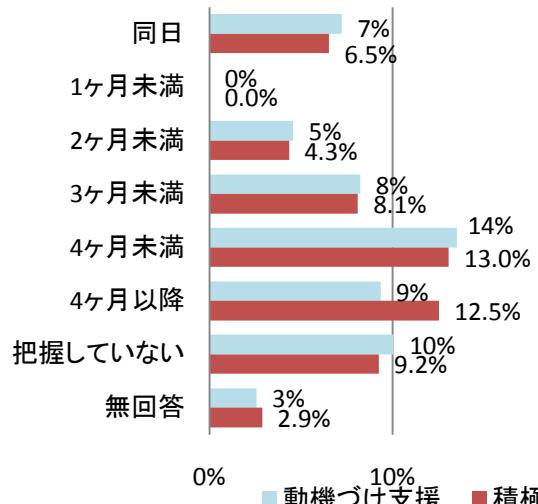
被用者保険(1702保険者)



市町村国保(1757保険者)



被
扶
養
者



※被用者保険については、複数回答

特定保健指導未利用者への利用勧奨の状況

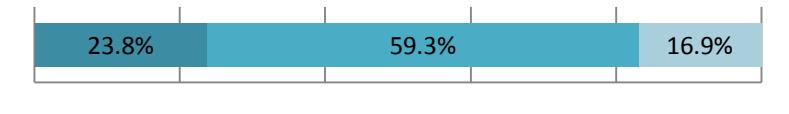
(1) 利用勧奨の実施の有無

被用者保険では、利用勧奨「なし」の保険者が多く、市町村国保では利用勧奨「あり」の保険者が多かった。

被
保
險
者

被用者保険(1702保険者)

動機付け支援

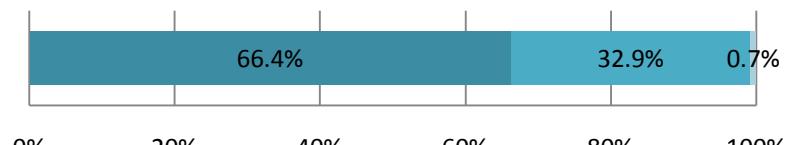
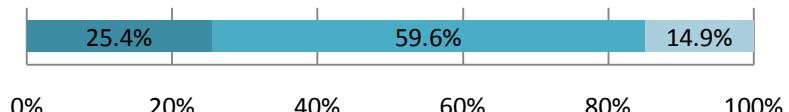


市町村国保(1757保険者)

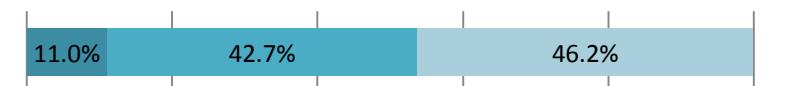
動機付け支援



積極的支援



動機付け支援



積極的支援

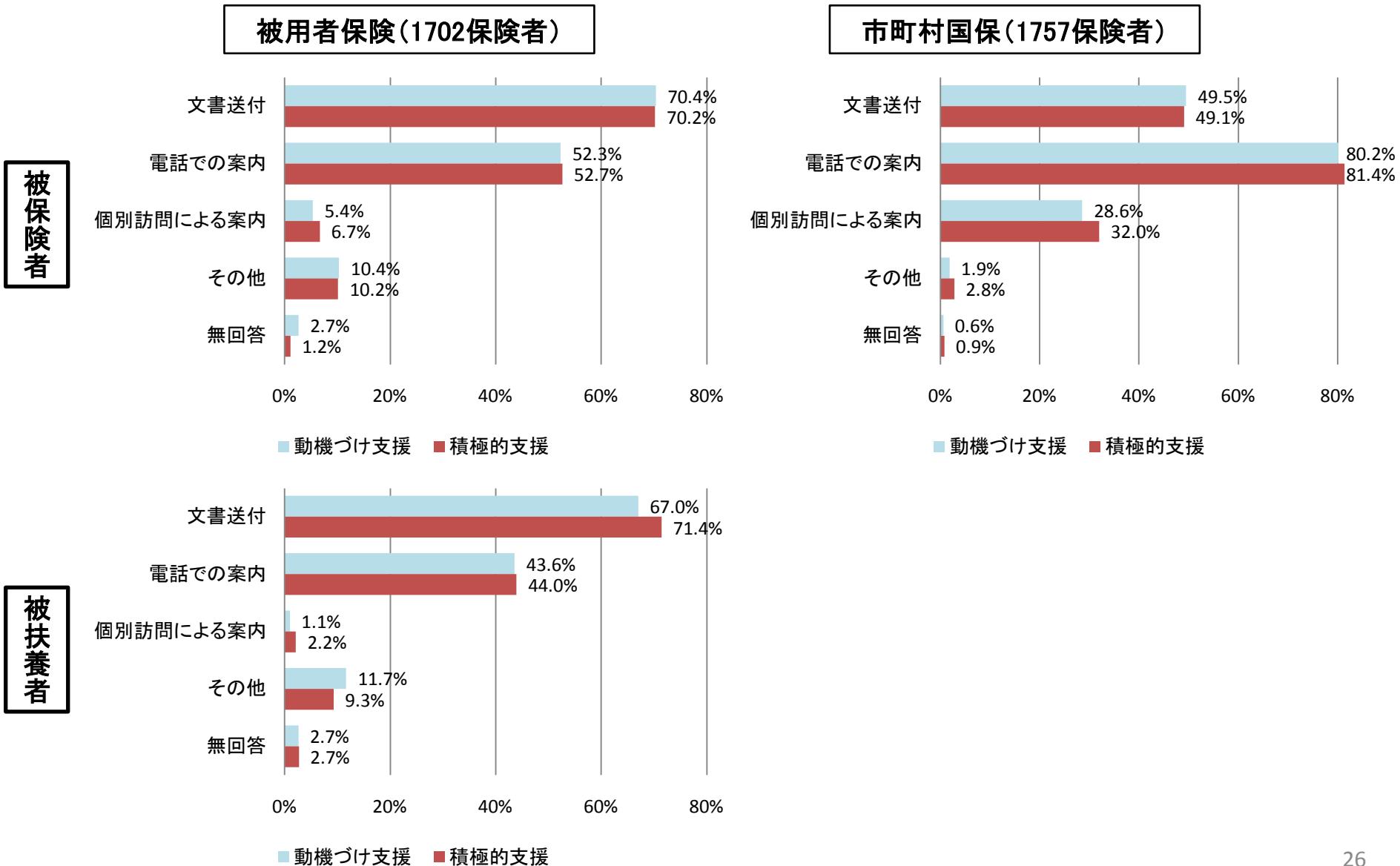


■あり ■なし ■無回答

特定保健指導未利用者への利用勧奨の状況

(2) 利用勧奨の方法(複数回答)

被用者保険では「文書送付」が多く、市町村国保では「電話」での案内が多かった。

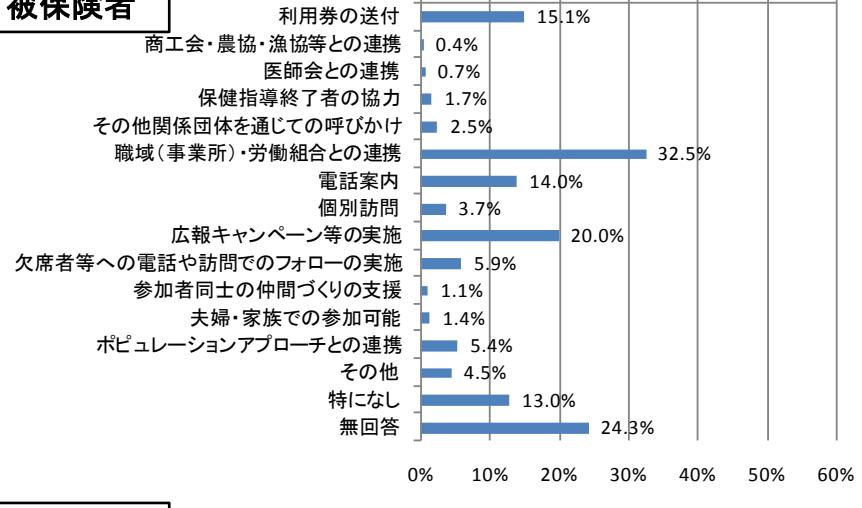


特定保健指導利用率向上のために工夫している点（複数回答）【動機付け支援】

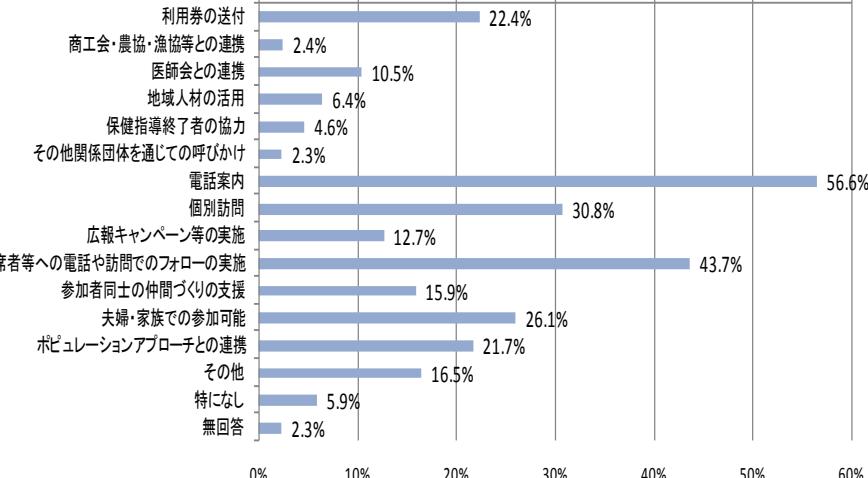
市町村国保では、「電話案内」、「欠席者等への電話や訪問でのフォロー実施」が多く、被用者保険の被保険者では「職域(事業所)・労働組合との連携」、被扶養者では「利用券の送付」が多かった。

被用者保険(1702保険者)

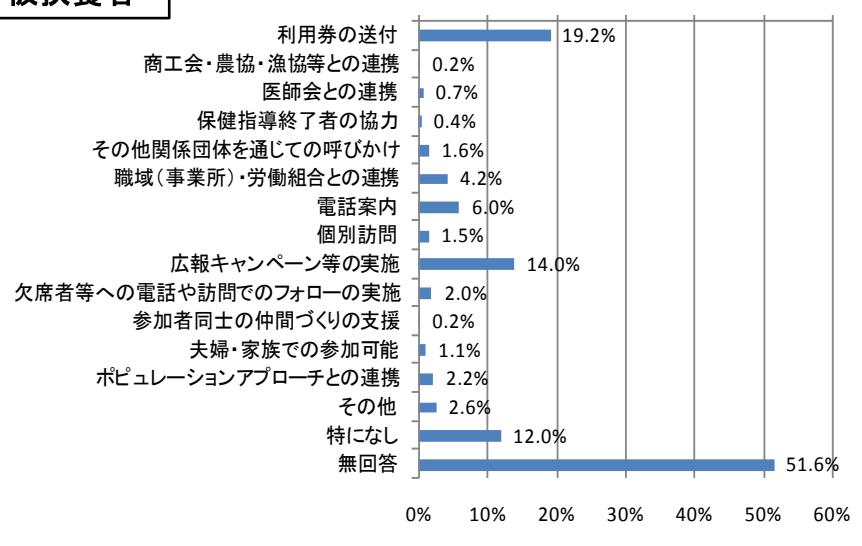
被保険者



市町村国保(1757保険者)



被扶養者

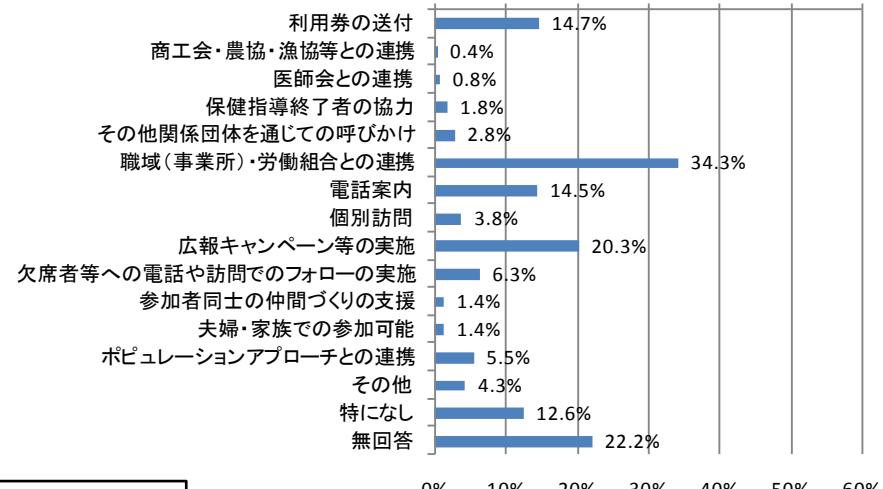


特定保健指導利用率向上のために工夫している点(複数回答)【積極的支援】

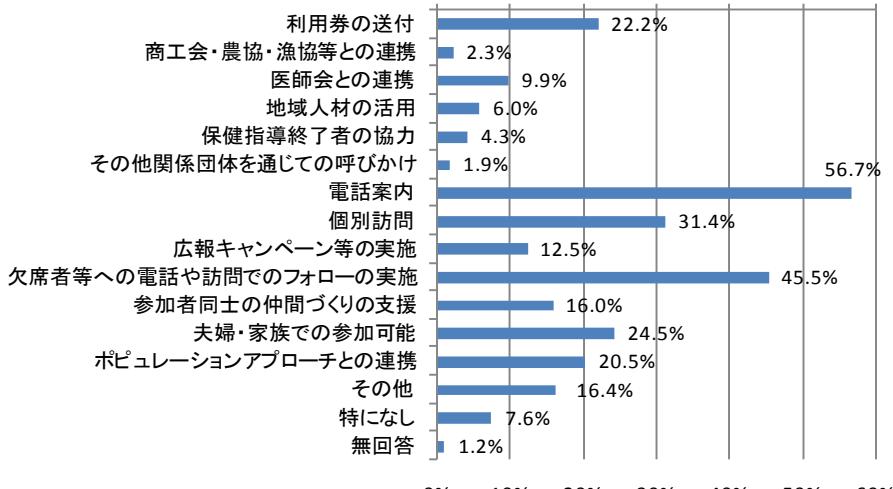
市町村国保では、「電話案内」、「欠席者等への電話や訪問でのフォロー実施」、「個別訪問」が多く、被用者保険の被保険者では「職域(事業所)・労働組合との連携」、被扶養者では「利用券の送付」が多かった。

被保険者

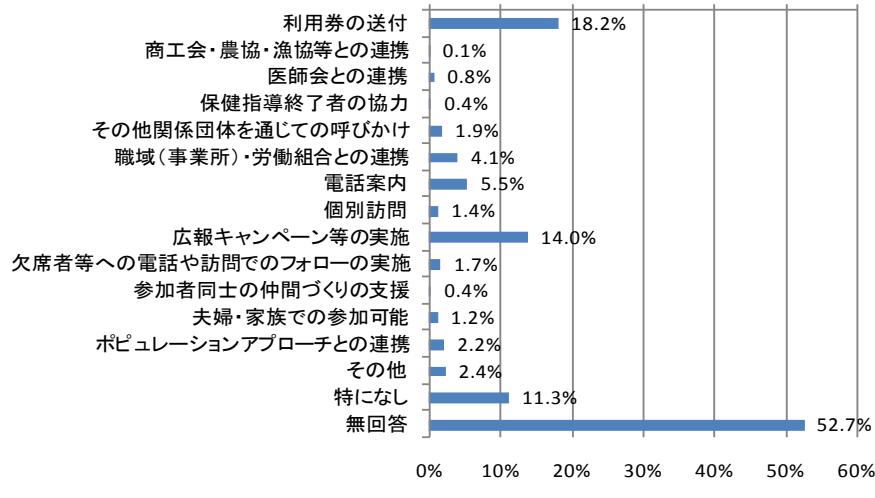
被用者保険(1702保険者)



市町村国保(1757保険者)



被扶養者

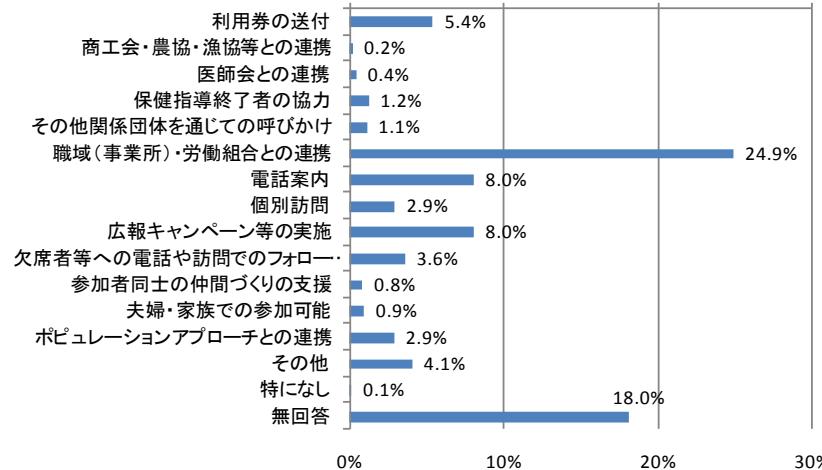


特定保健指導利用率向上に向けての有効な方法 (主なもの3つまでの複数回答)【動機付け支援】

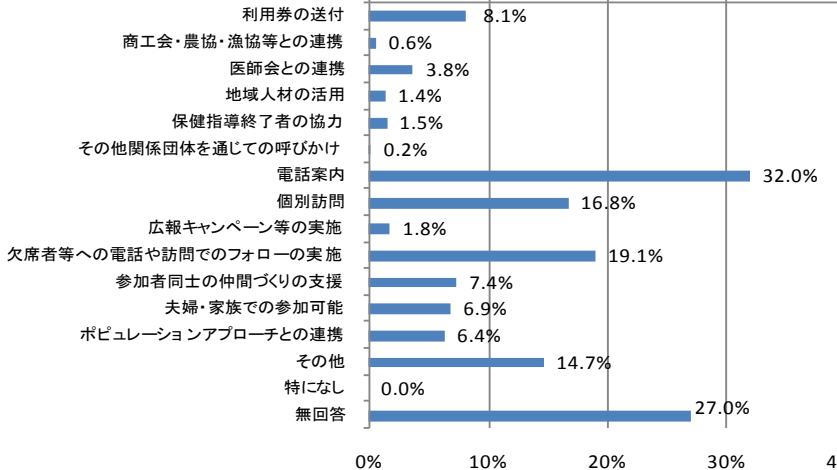
市町村国保では、「電話案内」、「欠席者等への電話や訪問でのフォロー実施」、「個別訪問」が多く、被用者保険の被保険者では「職域(事業所)・労働組合との連携」、被扶養者では「利用券の送付」が多かった。

被保険者

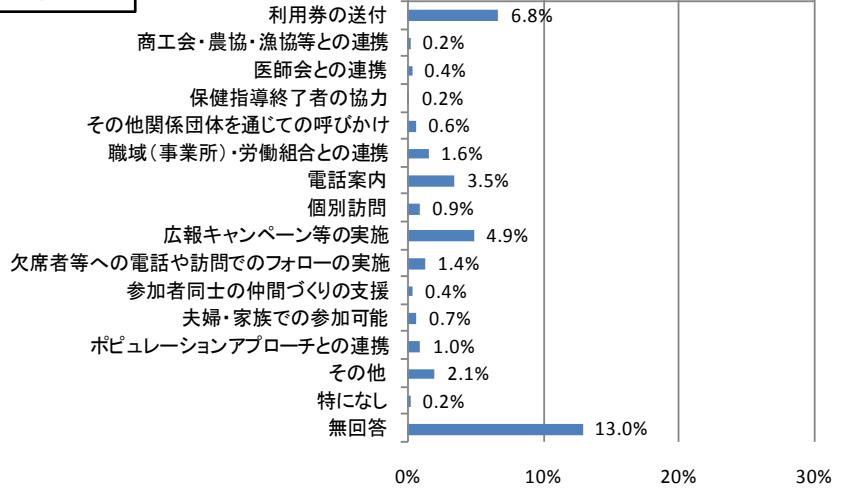
被用者保険(1702保険者)



市町村国保(1757保険者)



被扶養者

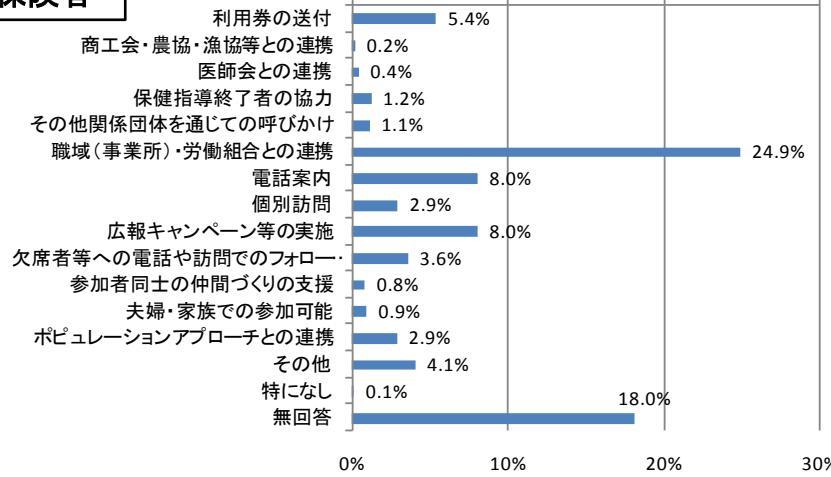


特定保健指導利用率向上に向けての有効な方法 (主なもの3つまでの複数回答)【積極的支援】

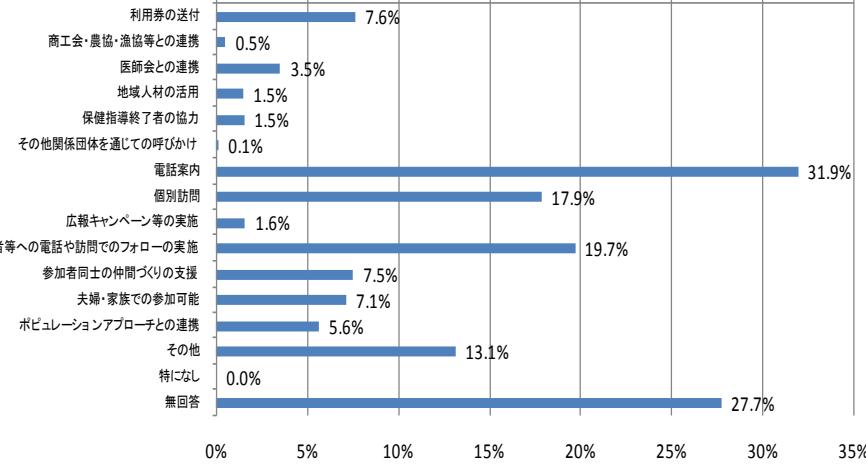
市町村国保では、「電話案内」、「欠席者等への電話や訪問でのフォロー実施」、「個別訪問」が多く、被用者保険の被保険者では「職域(事業所)・労働組合との連携」、被扶養者では「利用券の送付」が多かった。

被用者保険(1702保険者)

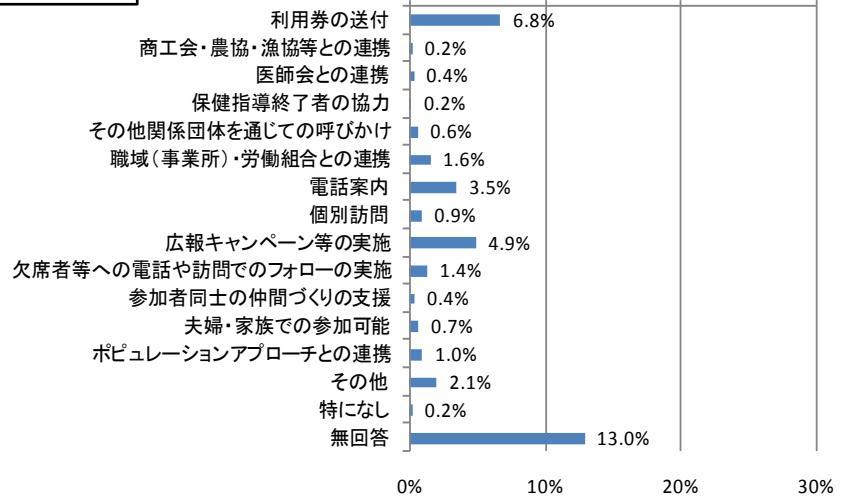
被保険者



市町村国保(1757保険者)



被扶養者

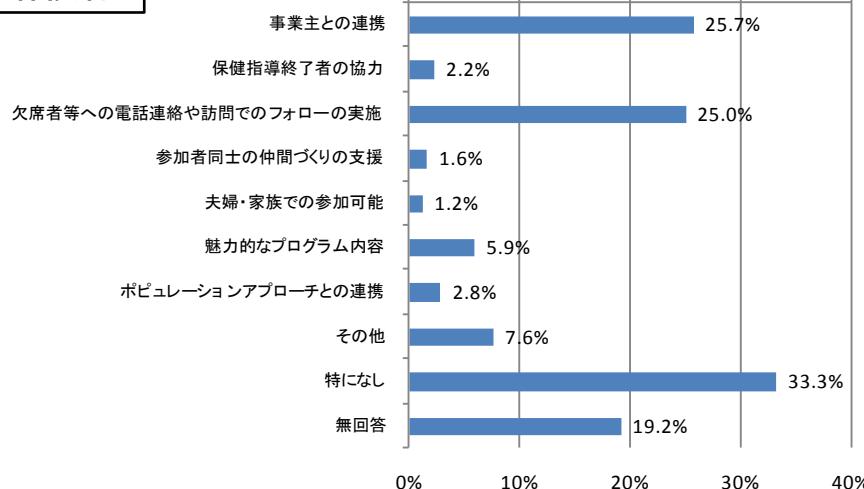


特定保健指導積極的支援終了率向上のために工夫している点 (複数回答)

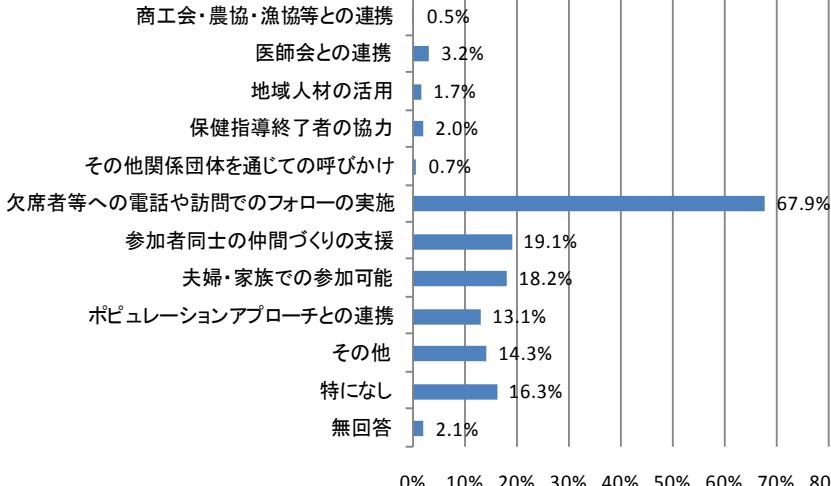
市町村国保では、「欠席者等への電話や訪問でのフォロー実施」が多く、被用者保険の被保険者では「特になし」が多かった。

被用者保険(1702保険者)

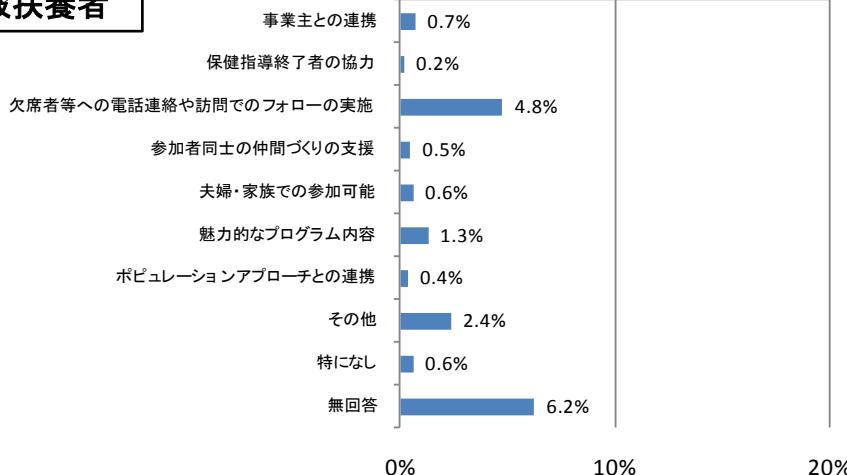
被保険者



市町村国保(1757保険者)



被扶養者

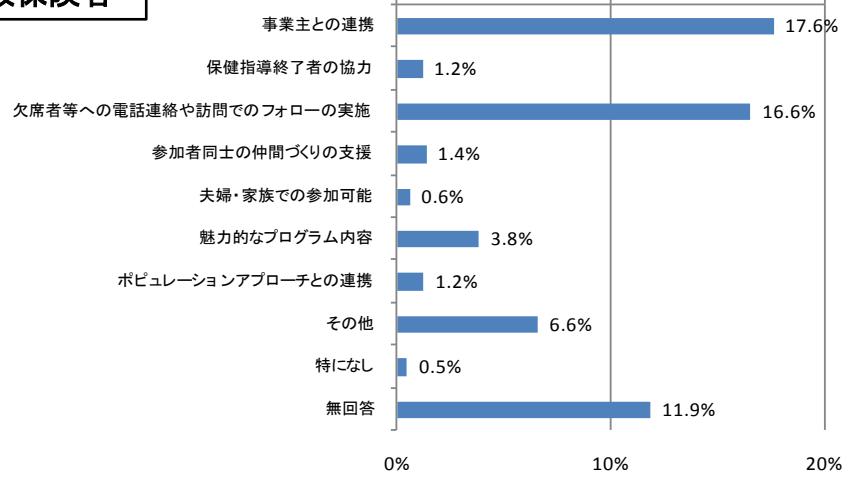


特定保健指導積極的支援終了率向上に向けての有効な方法 (主なもの3つまでの複数回答)

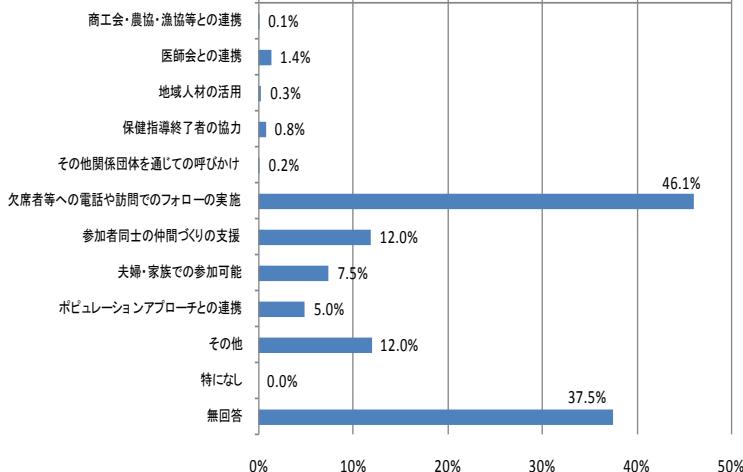
市町村国保では「欠席者等への電話や訪問でのフォロー実施」が多く、被用者保険では、「事業主との連携」が多かった。

被用者保険(1702保険者)

被保険者



市町村国保(1757保険者)



被扶養者

